

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	道路構造物補修工事（市道本町1号線）  三原市本町二丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=218.5m 断面修復工 V=2.7m <sup>3</sup> ひび割れ補修工 N=1構造物 伸縮目地対策工 L=136m 転落防止柵設置工 L=65m							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則 第1節

### 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本町二丁目 道路構造物補修工事（市道本町1号線）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

- ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ・ **特記仕様書（共通事項）（令和5年8月）広島県**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

## 第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第3節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画  
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表  
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。  
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)
- 3 実施書の提出  
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

- 4 工事現場の管理体制  
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

## 第2章 施工条件

### 第1節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第2節 工事用道路

- 1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

### 第3節 その他

- 1 工事用機資材の仮置き  
場所 受注者が責任をもって確保すること。
- 2 各補修工の事前調査  
受注者は、補修箇所洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

## 第3章 設計金額

### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。  
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第4章 工事保険等

### 1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んである。

## 2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁床版工		式	1	レベル2
旧橋撤去工		式	1	レベル3
鋼製高欄撤去		m	66	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵		m	65	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
充てん工法	【ポリマーセメントモルタル】	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【ポリマーセメントモルタル】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	構造物	1	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻（無筋）】	m3	3	レベル4
殻処分	【コンクリート殻（無筋）】	m3	3	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
表面含浸工	【シラン系表面含浸材】	式	1	レベル4

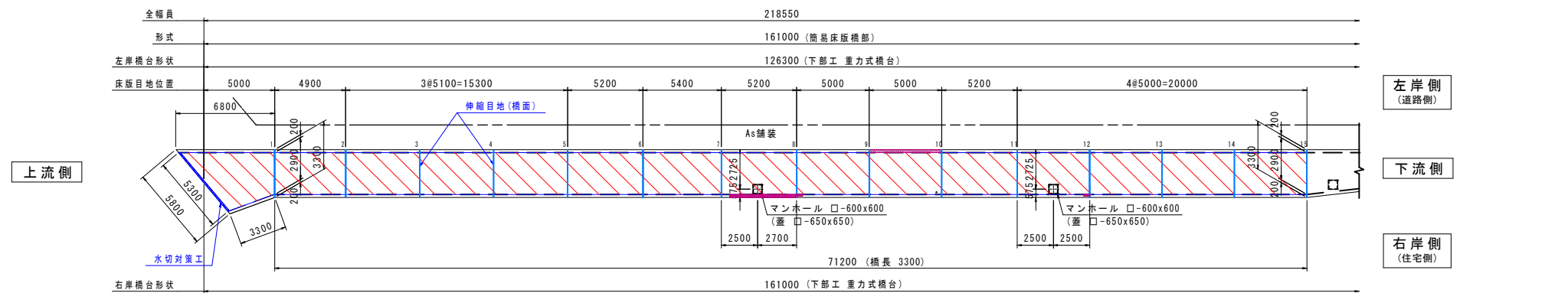
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
水切り対策工		式	1	レベル3
水切り対策工		式	1	レベル4
伸縮目地対策工		式	1	レベル3
伸縮目地対策工		式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【鉄筋構造物】	m3	0.8	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻（有筋）】	m3	0.8	レベル4
殻処分	【コンクリート殻（有筋）】	m3	0.8	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	24	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				

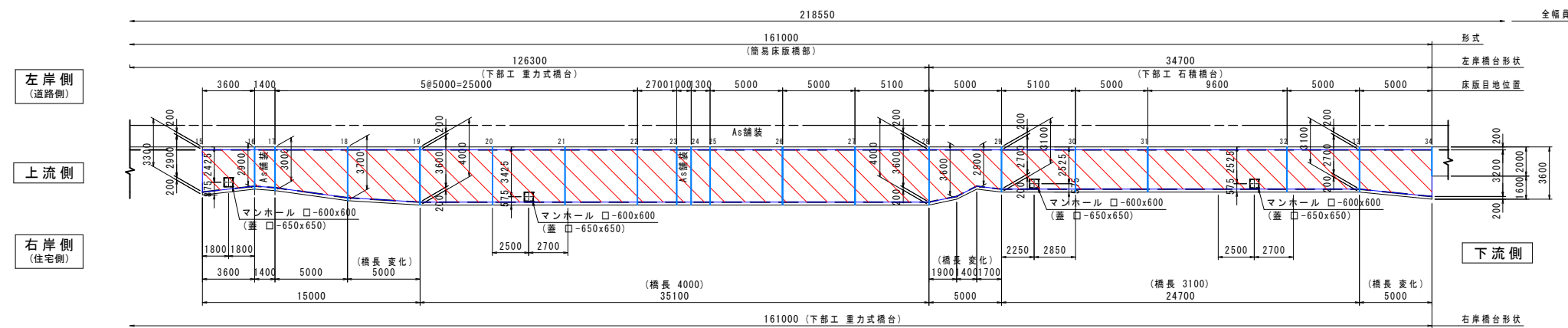
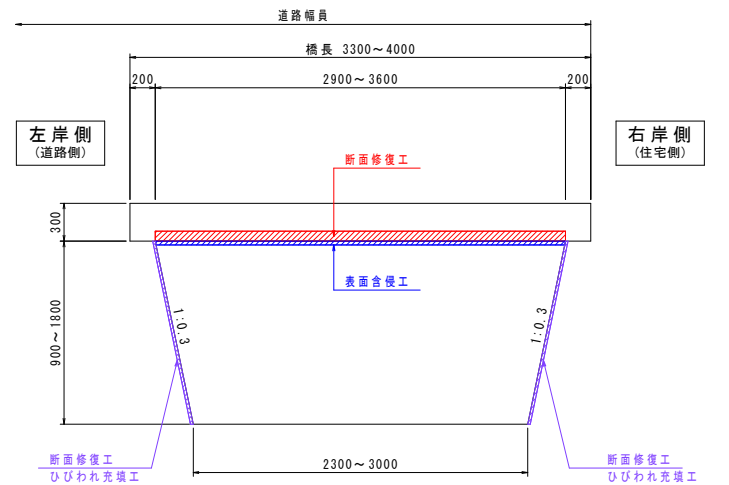


# (市道本町1号線)補修一般図

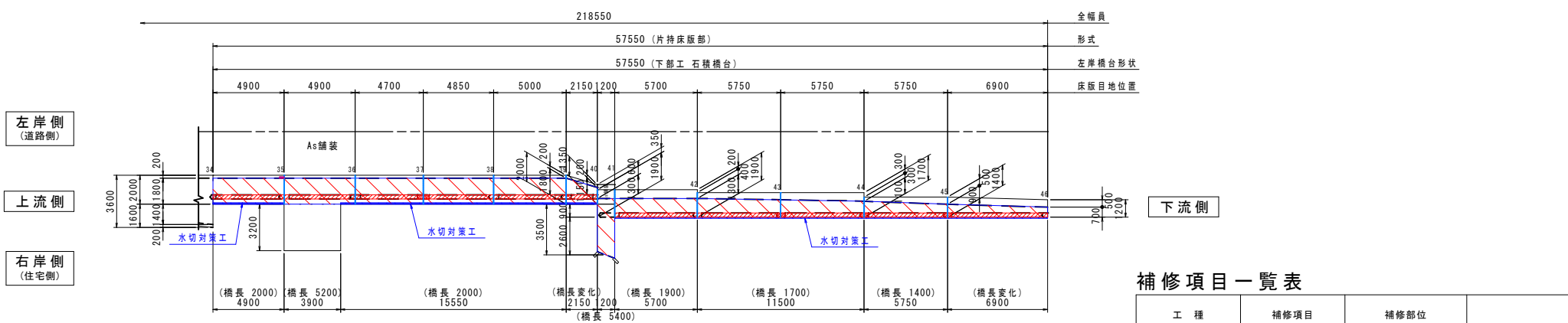
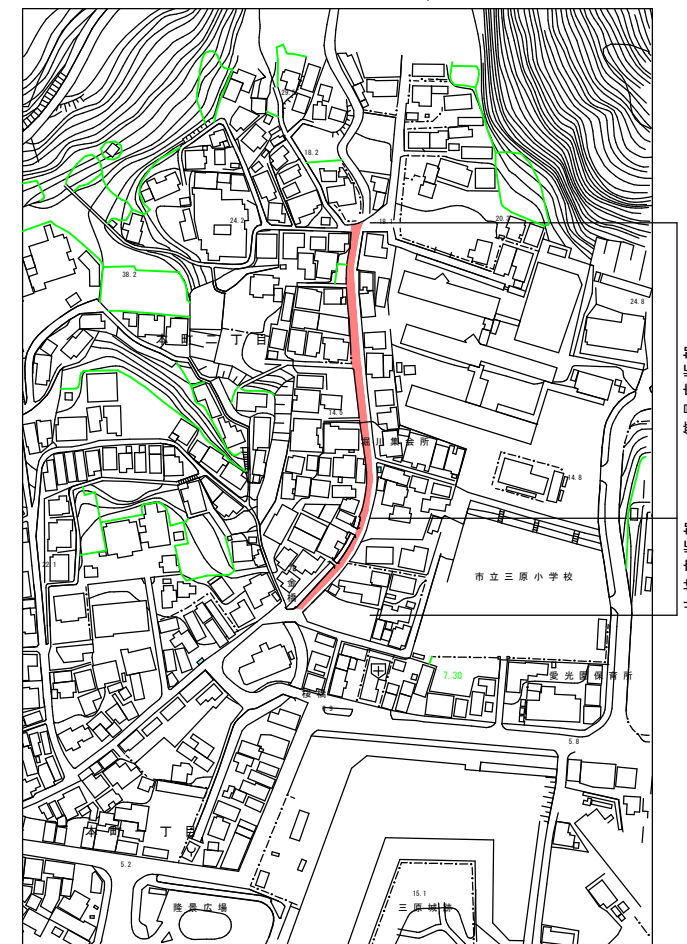
平面図 S=1/200



左岸重力式橋台部 S=1/30



補修箇所平面図 S=1/2000



補修項目一覧表

工種	補修項目	補修部位	損傷対策	摘要
床版	断面修復工	床版下面	うき・剥離鉄筋露出	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	表面含浸工法	床版下面全域	進展抑制対策	シラン系表面含浸材
	水切対策工	呑口端部・張出床版	進展抑制対策	後付け水切り材(特殊ゴム系材料)
下部工(橋台・橋脚)	断面修復工	橋台・橋脚	剥離・欠損・洗堀	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	ひびわれ充填工	橋台	ひびわれ(無筋コンクリート)	ポリマーセメントモルタル(充填工法)
橋面	伸縮目地充填	目地遊間(路面)	床版下面漏水対策	ポリブタジエン系シーリング材充填対策
高欄工	転落防止柵更新工	張出床版部(吐口部)	歩行者転落防止対策	転落防止柵 H=1.10m

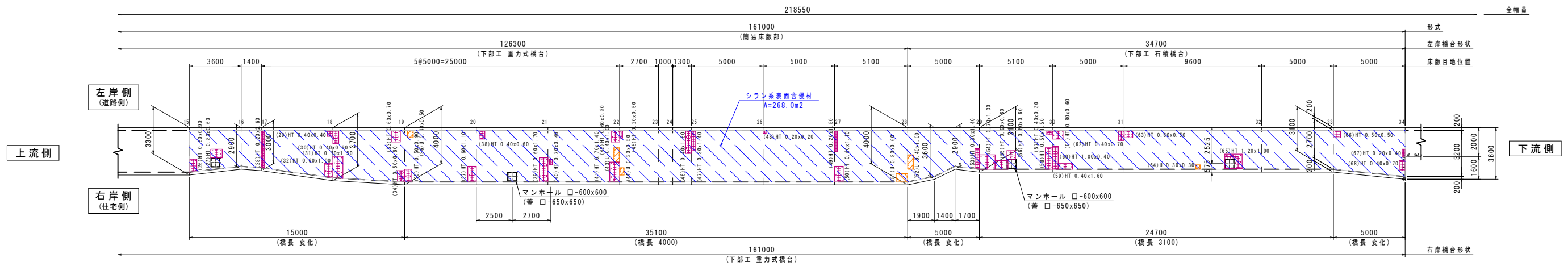
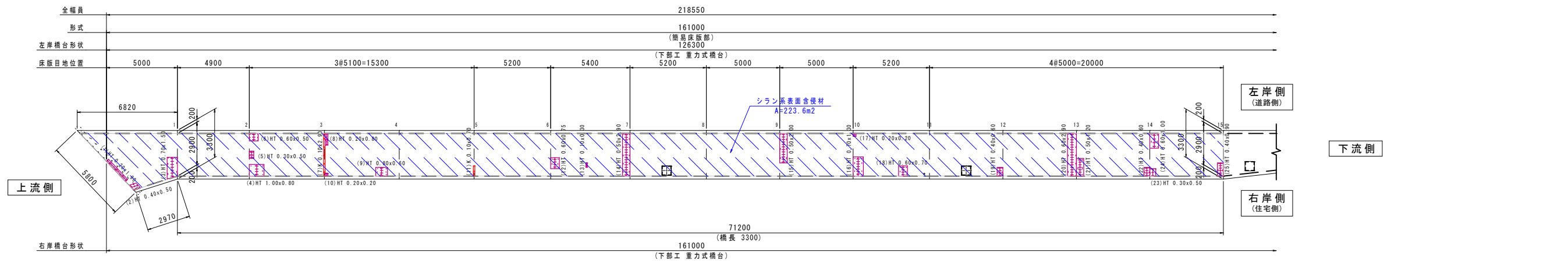
※ハッチ部は断面修復工(洗堀・うき・はつり)、表面含浸工法を施す。

図面番号	1 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
	三原市		



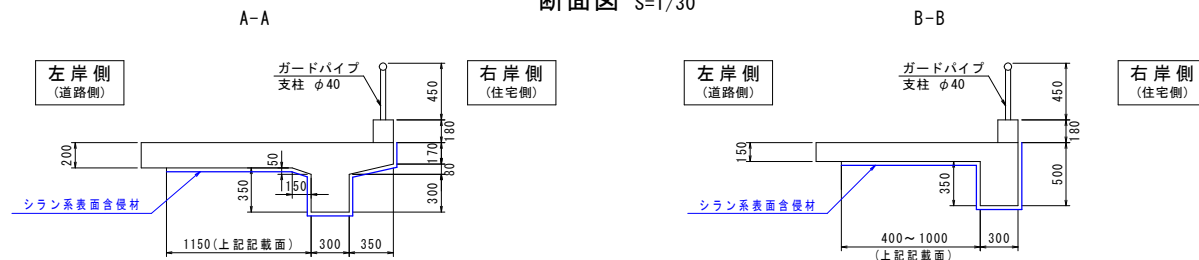
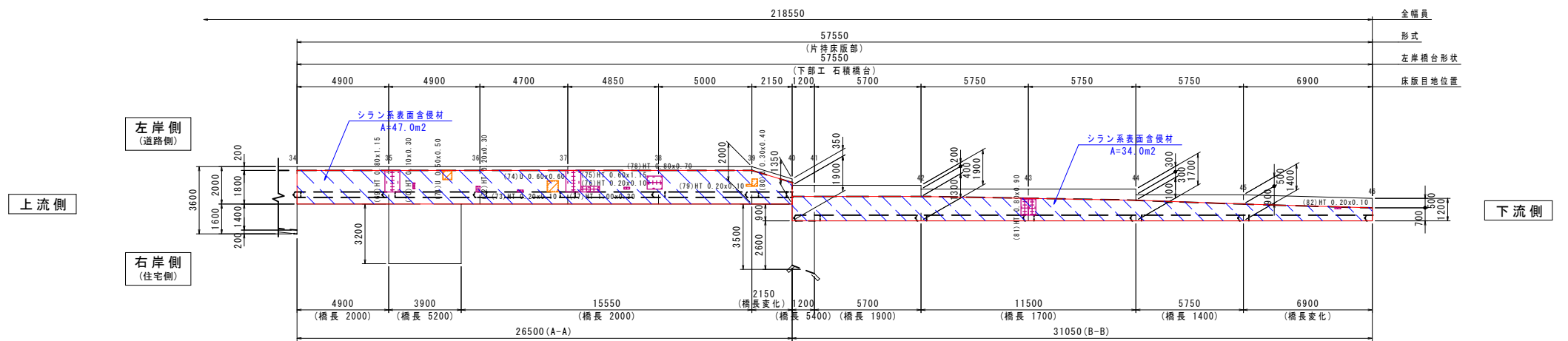
(市道本町1号線)補修図 (その1) S=1/150

平面図



凡例

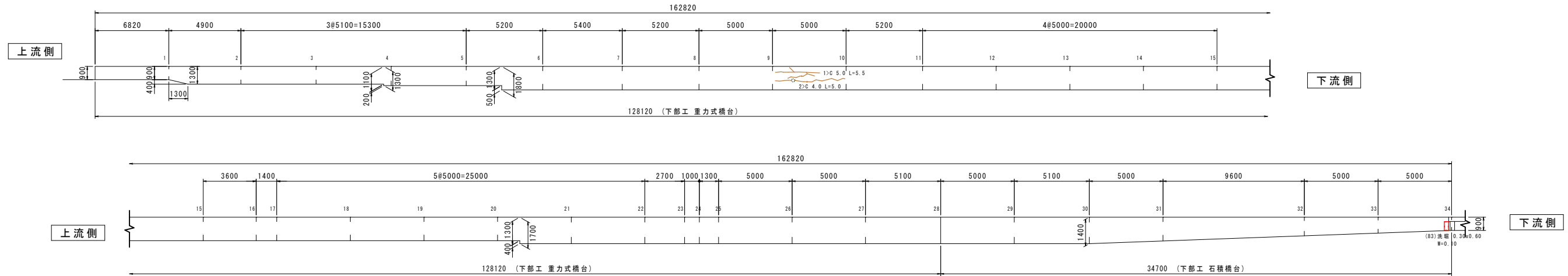
C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
S	錆跡
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
M	ジャンカ
HA	被覆剥がれ



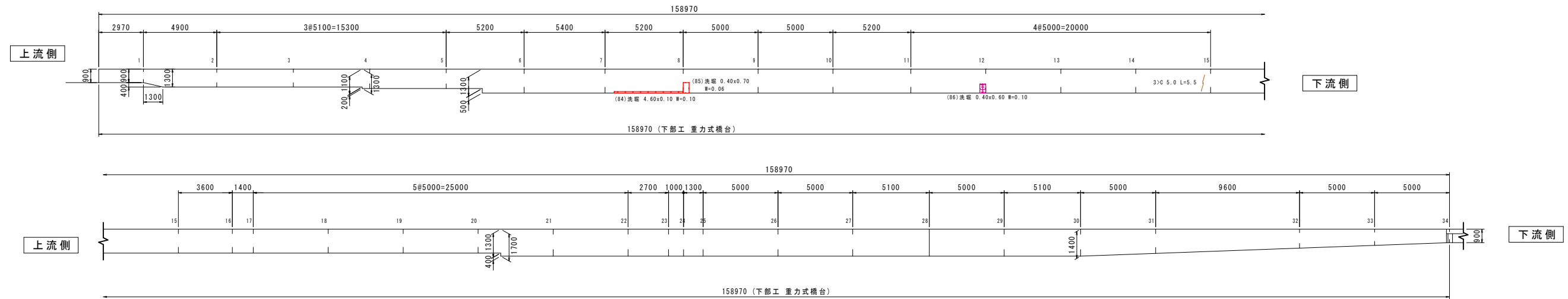
図面番号	2 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	1/5	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

(市道本町1号線)補修図 (その2) S=1/150

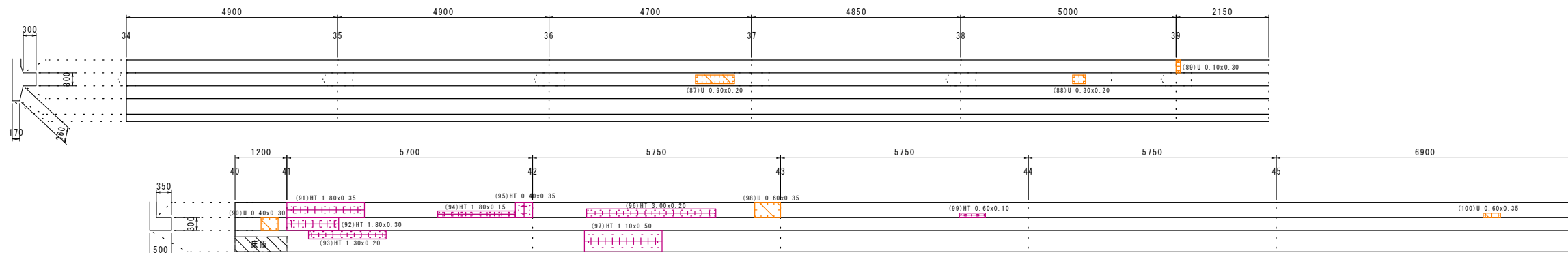
左岸側橋台正面図



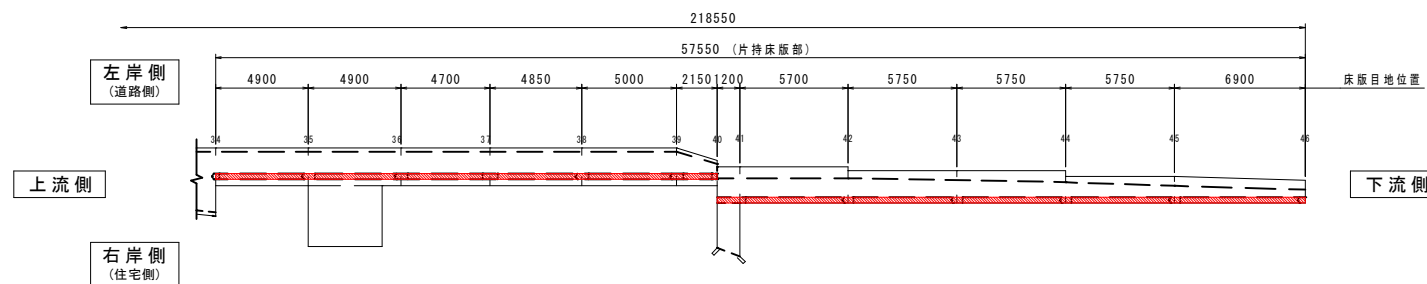
右岸側橋台正面図



下流側片持床版部(主桁) S=1/60  
(平断面)



位置図

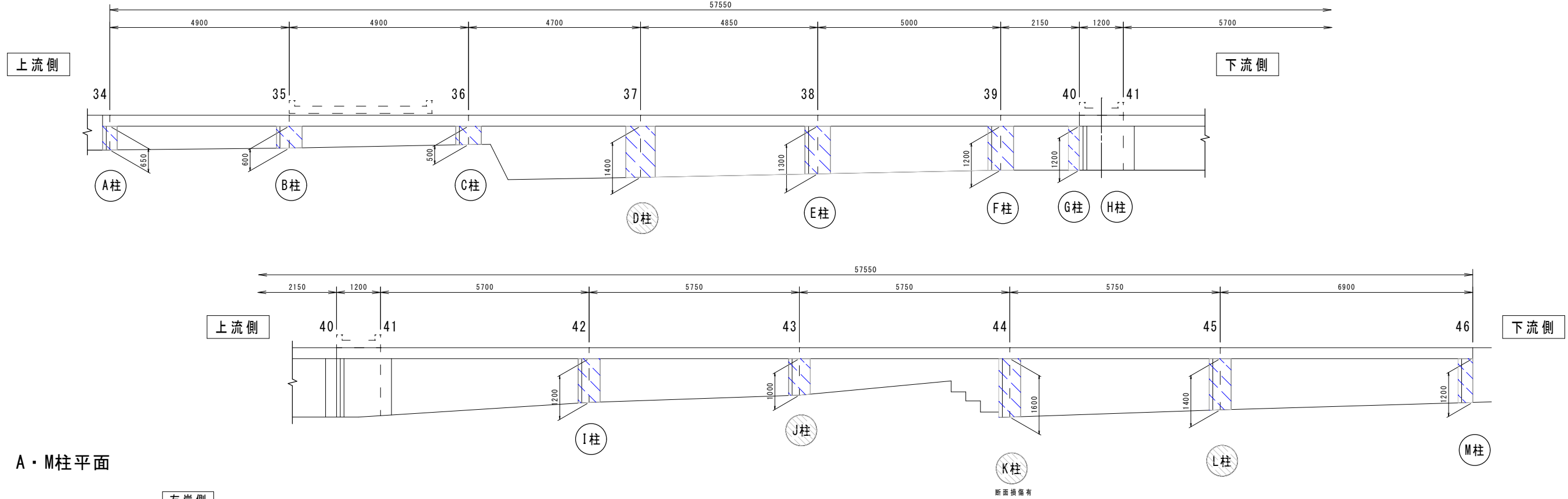


凡例

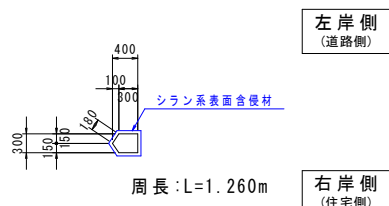
	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	S	錆汁跡
	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
	R	漏水
	M	ジャンカ
	HA	被覆剥がれ

図面番号	3 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	2/5	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
	三原市		

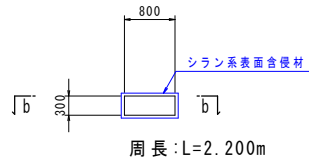
下流側片持床版部(橋脚) S=1/60  
側面図



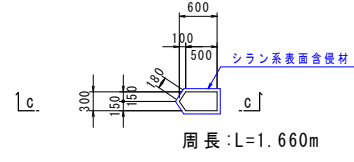
A・M柱平面



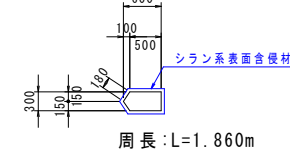
D柱平面



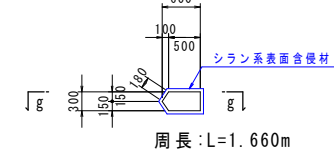
J柱平面



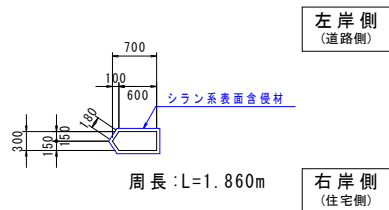
K柱平面



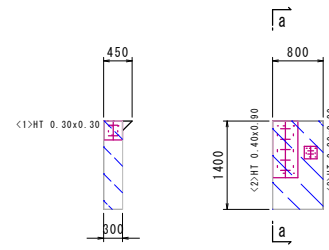
L柱平面



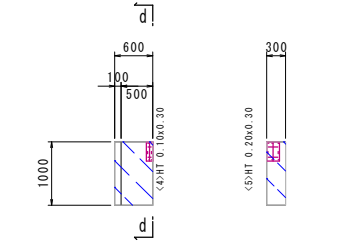
B・C・E・F柱平面



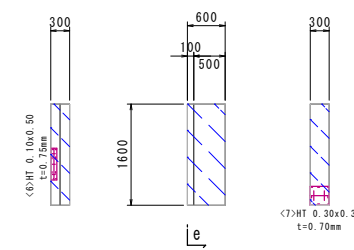
D柱側面



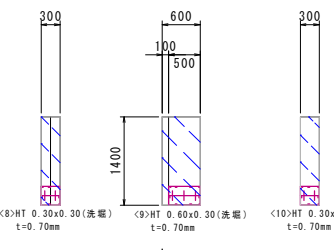
J柱側面



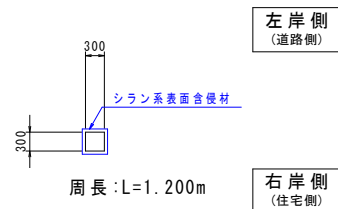
K柱側面



L柱側面



G柱平面

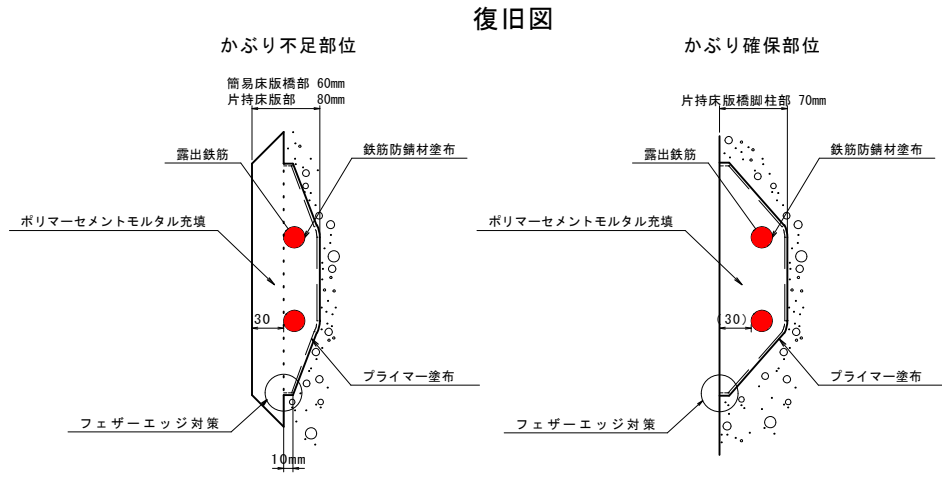


凡例

C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
c	ひび割れ (1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
S	錆跡
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
M	ジャンカ
HA	被覆剥がれ

図面番号	4 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	3/5	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

断面修復工詳細図  
(左官工法)



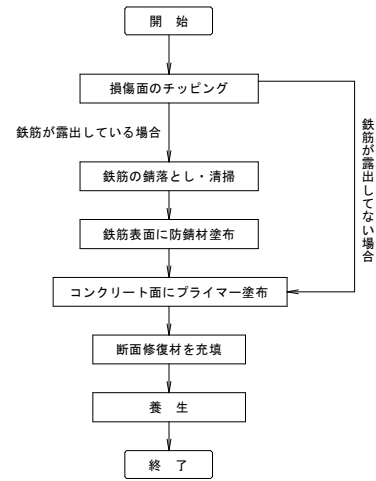
注) はつり時において鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

簡易床版橋部 (H-A)  
※1 t=(32mm+42mm)/2<橋軸直角方向鉄筋かぶり>+φ9mm(鉄筋径)x2≒55mm  
※2 t=30-(29mm+22mm)/2<橋軸直角方向鉄筋かぶり>≒5mm  
断面修復厚=※1+※2=55mm+5mm=60mm

片持床版部 (H-1)の橋軸直角方向鉄筋(配筋)かぶり深さ平均は  
※1 t=(60mm+35mm)/2<橋軸直角方向鉄筋かぶり>+φ9mm(鉄筋径)x2≒65mm  
※2 t=30-(27mm+5mm)/2<橋軸直角方向鉄筋かぶり>≒15mm  
断面修復厚=※1+※2=65mm+15mm=80mm

片持床版柱部の断面修復厚(かぶりおよび鉄筋径現地計測)  
t=30mm<現地計測>+φ19mm(鉄筋径)x2≒70mm  
下部工洗濯部の断面修復厚は修復断面が凸になることで流水に伴う衝突に伴い再損傷が懸念される断面つらでの断面修復とし、欠損断面厚とする。

施工フロー



材料表

工種	仕様
プライマー	新旧打継用エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材

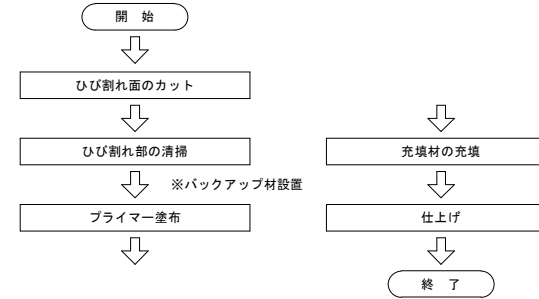
ひびわれ充填工詳細図

※バックアップ材は3mm以上のひび割れが認められる場合は設置する。  
注記)  
1. ひび割れ面カット後は切粉等をワイヤブラシ、刷毛等で入念に除去・清掃する。  
2. プライマーは溝内部に刷毛等で塗り残しがないように均一に塗布する。  
3. 充填材充填時には空隙がないよう加圧しながら充填し既設部と密着させ表面を平滑処理する。

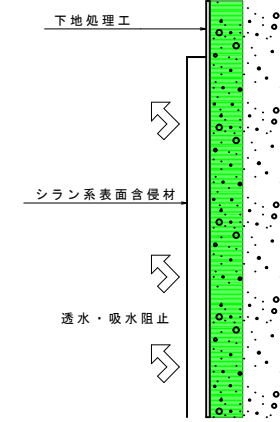
材料表

工種	仕様
ひびわれ充填工	ポリマーセメントモルタル

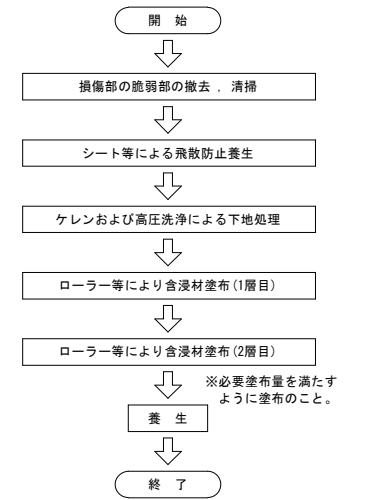
施工フロー



表面含浸工詳細図  
(床版下面・側面)



施工フロー



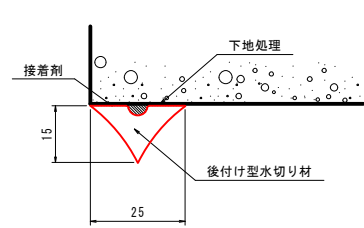
水切設置工

1-1

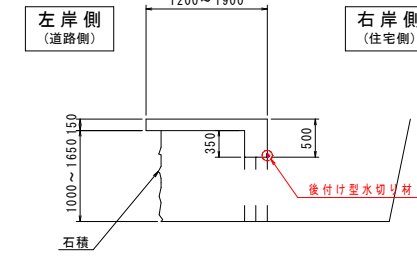
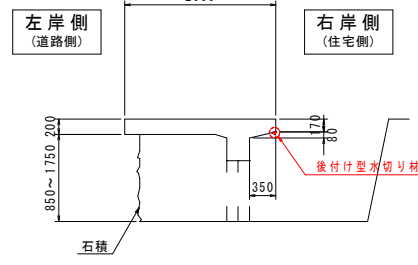
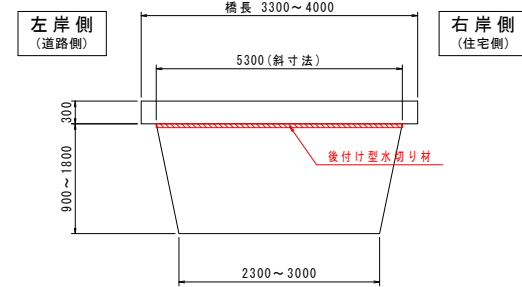
各部断面図 S=1/50

3-3

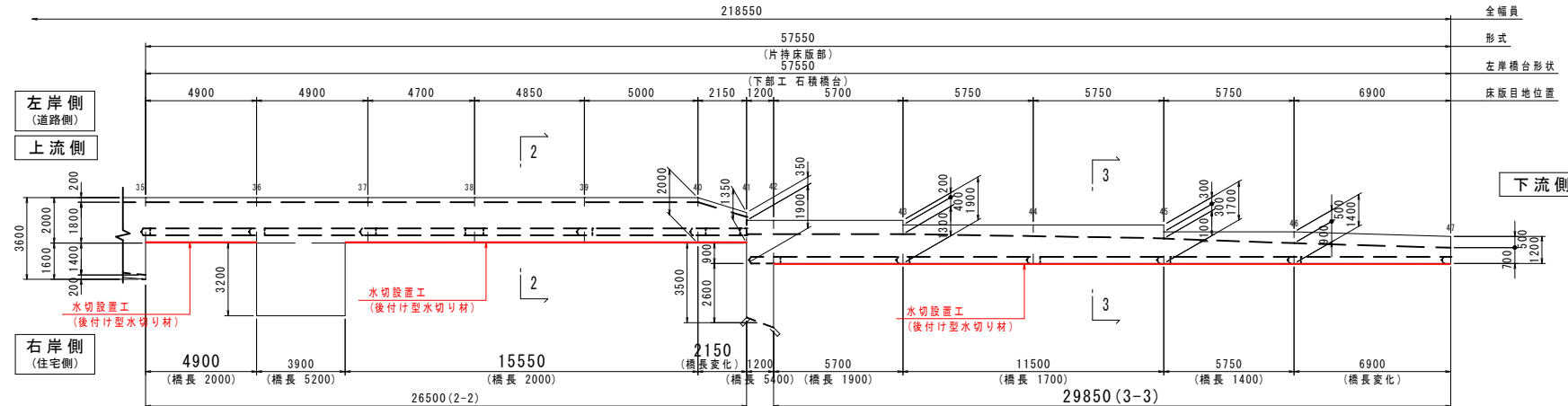
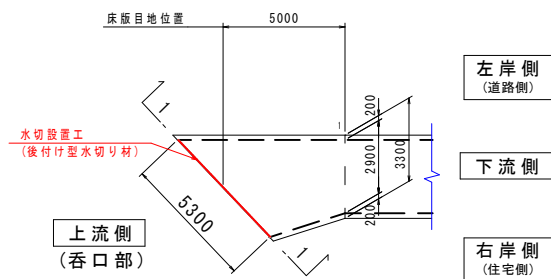
a部詳細図



注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてブローも併用すること。  
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。  
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。



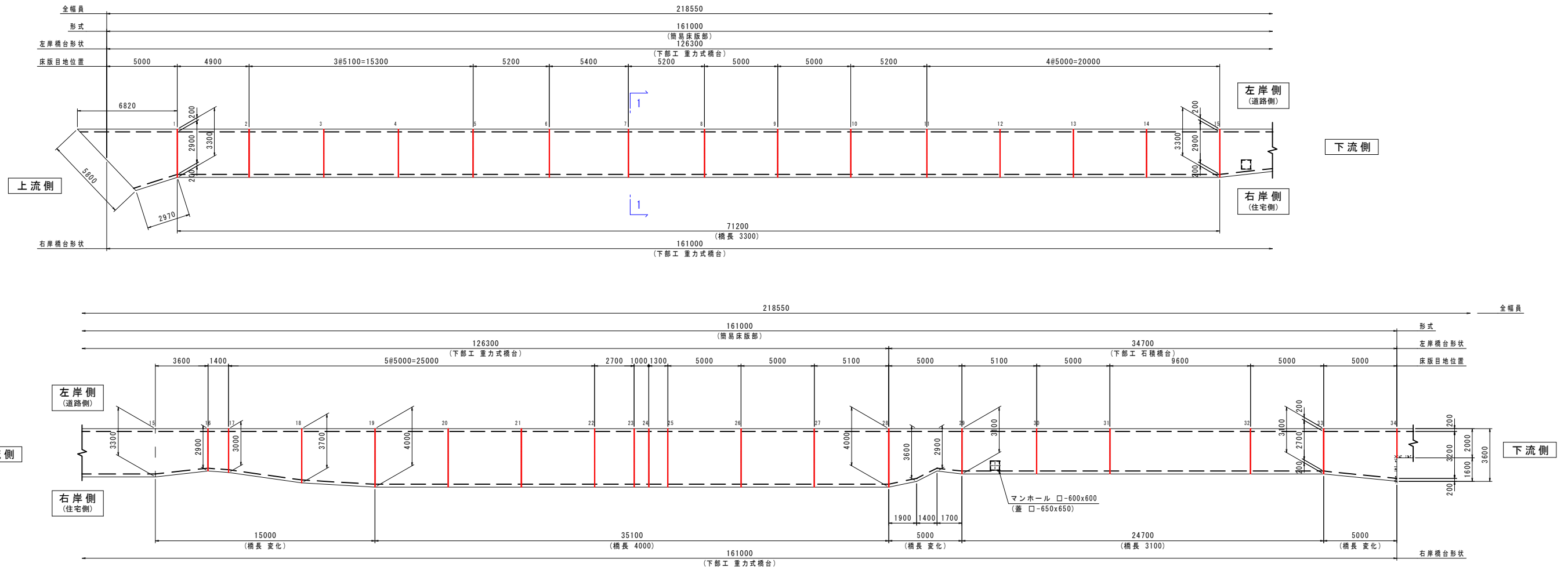
- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
  2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
  3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
  4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
  5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
  6. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
  7. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
  8. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
  9. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
  10. 表面含浸材塗布前にはOo損傷部は事前に補修を施すこと。
  11. 表面含浸材およびはく落防止材は必要塗布量を満たすように塗布すること。
  12. その他予期しない損傷および補修対策を施すことが困難な場合は発注者と協議し対策を講じること。



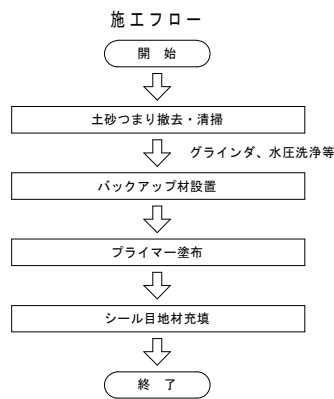
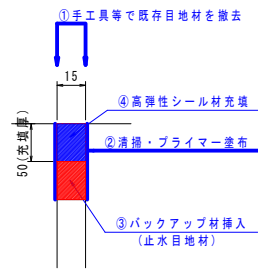
図面番号	5 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	4/5	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

# (市道本町1号線)補修図 (その5)

平面図 S=1/150

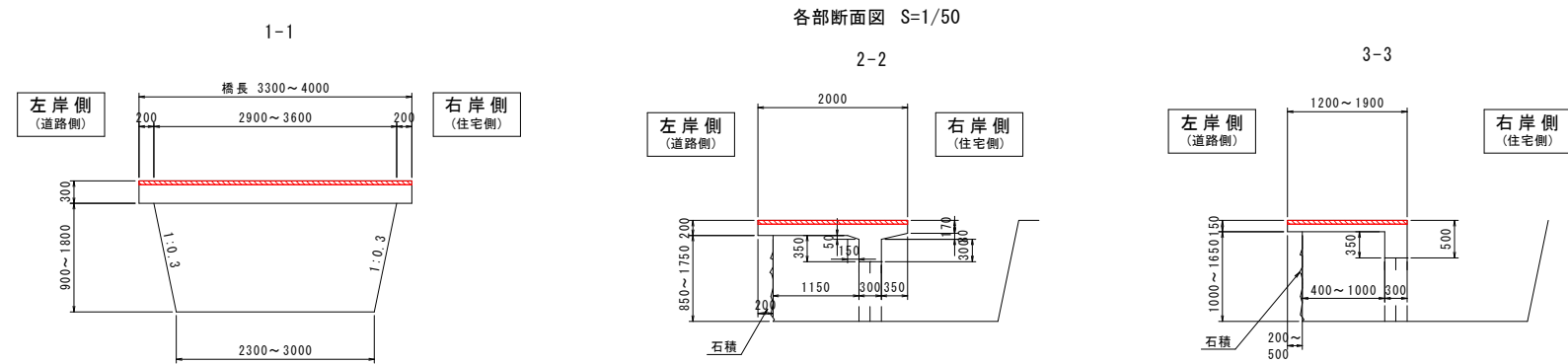
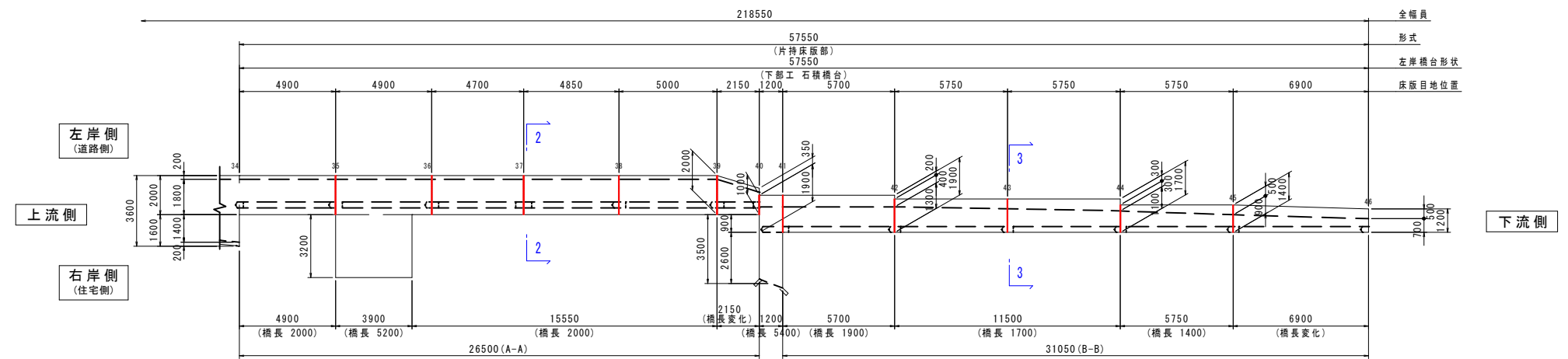


## 伸縮目地対策工



注) 遊間幅は現場計測(平均)15mmにて算出する。  
注) 現況目地部は土砂の堆積が認められる。  
グラインダや高圧洗浄等で土砂を除去したのちに設置する。

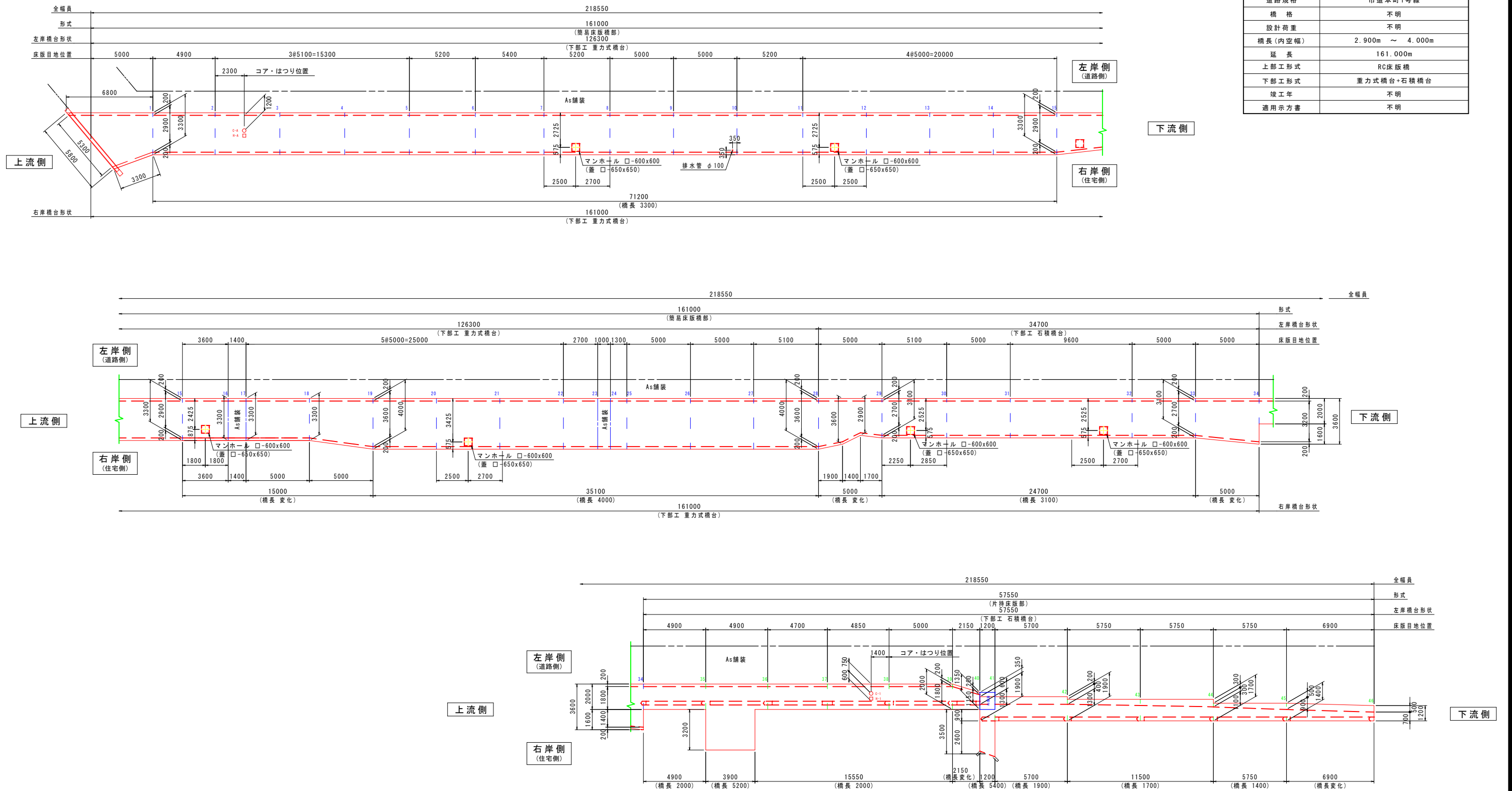
目地材延長 (m)													
目地位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
延長	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300
目地位置	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
延長	3.300	3.300	2.900	3.000	3.700	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
目地位置	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
延長	4.000	4.000	3.100	3.100	3.100	3.100	3.100	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000
目地位置	40	41	42	43	44	45	合計						
延長	1.000	1.900	1.700	1.700	1.400	1.400	135.700						



図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	5/5	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

(市道本町1号線)既設橋梁一般図 (その1) S=1/150

平面図



設計条件	
路線/交差物	三原市本町二丁目市道
道路規格	市道本町1号線
橋格	不明
設計荷重	不明
橋長(内空幅)	2,900m ~ 4,000m
延長	161,000m
上部工形式	RC床版橋
下部工形式	重力式橋台+石積橋台
竣工年	不明
適用示方書	不明

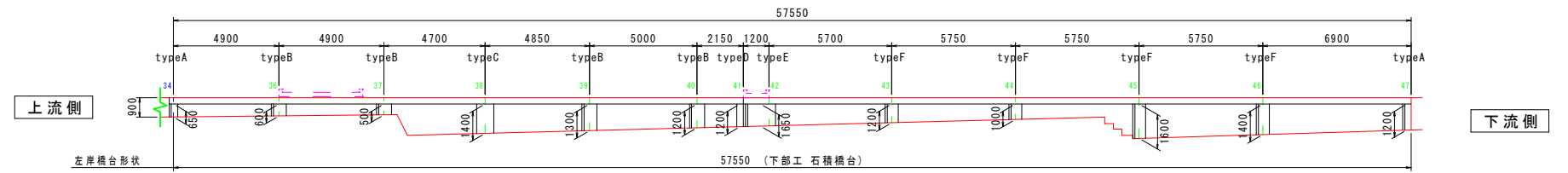
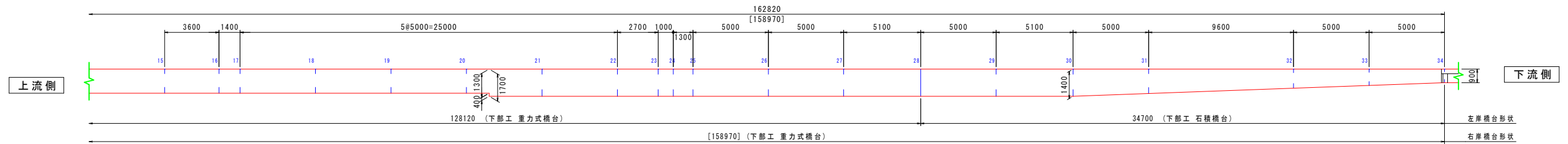
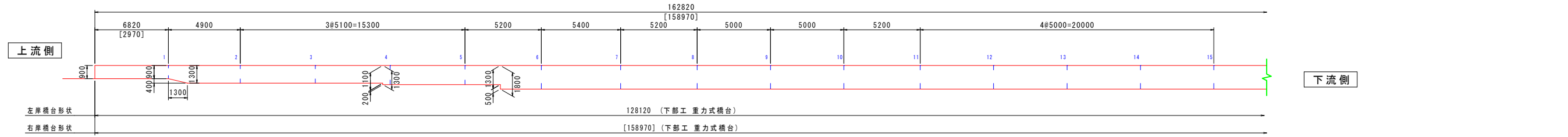
注記  
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。

図面番号	1 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	1/4	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

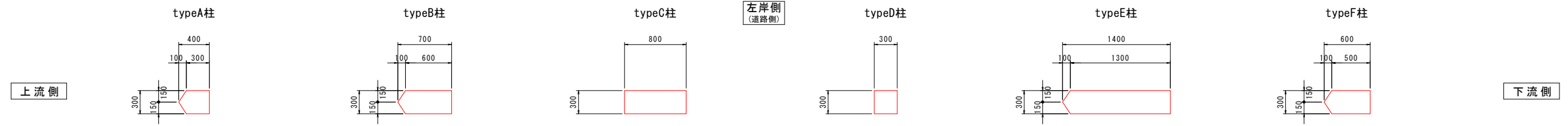
(市道本町1号線)既設橋梁一般図 (その2) S=1/150

左岸側橋台正面図

※[ ]内の寸法は右岸側橋台を示す。



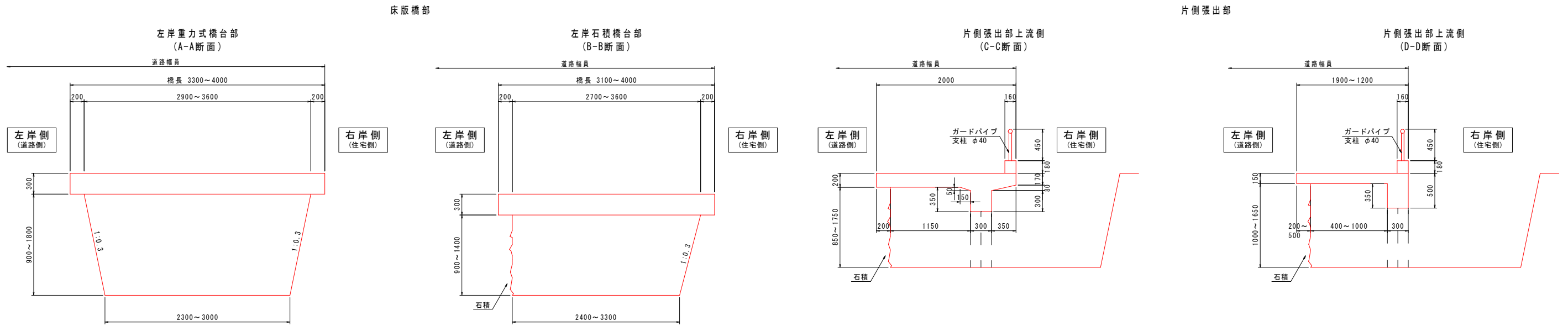
各柱平面図 S=1/30



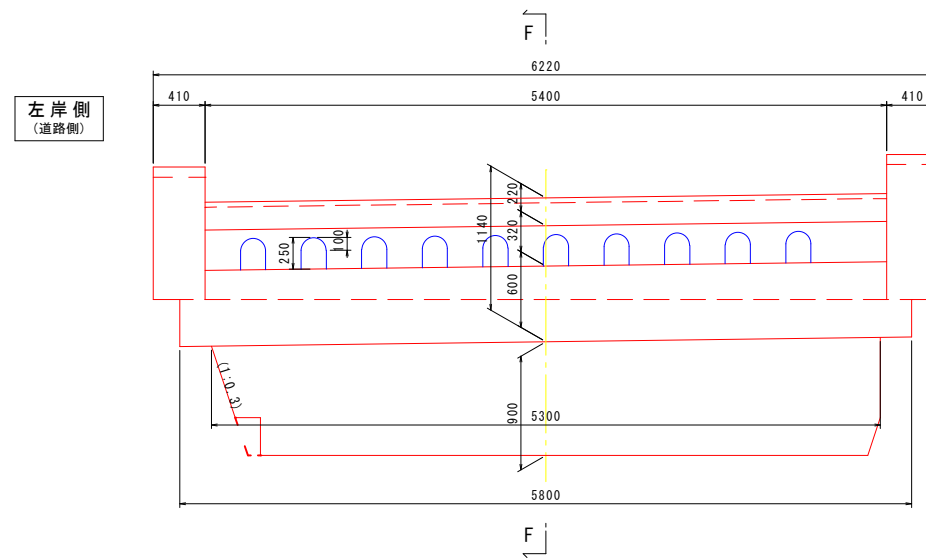
図面番号	2 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	2/4	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

(市道本町1号線)既設橋梁一般図 (その3) S=1/30

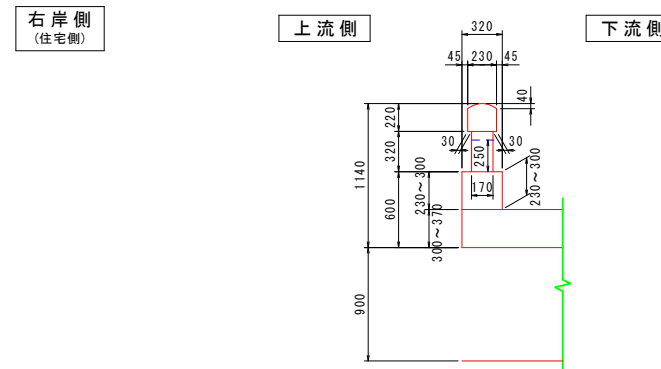
標準断面図



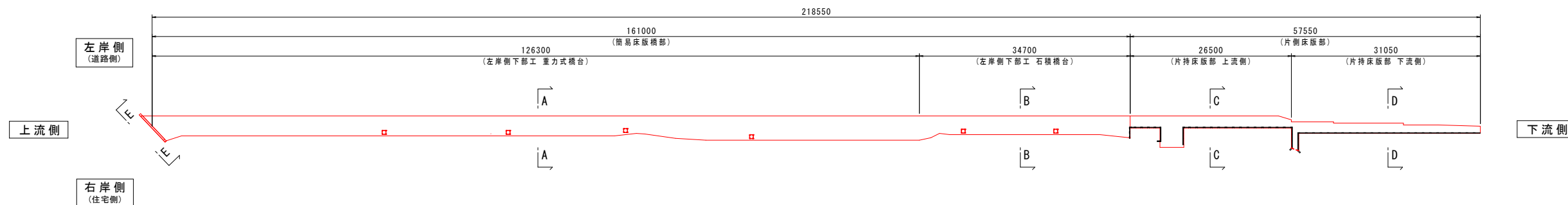
上流側側面図 (E-E断面)



F-F断面



位置図

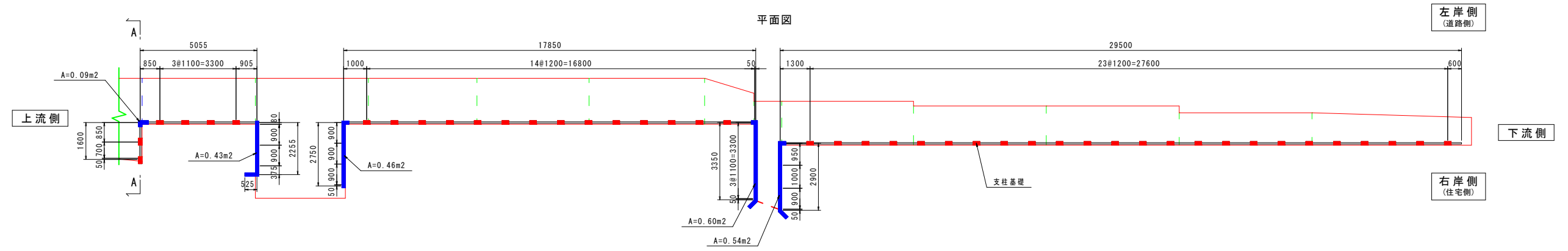


図面番号	3 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	3/4	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
	三原市		

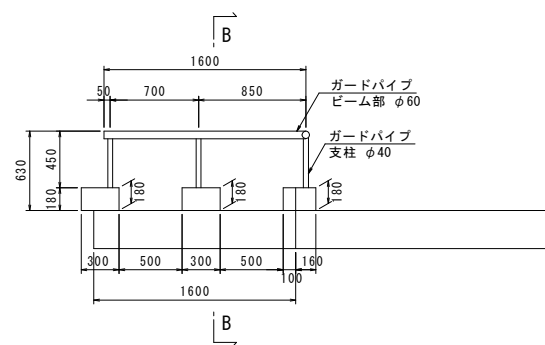


(市道本町1号線)既設橋梁一般図 (その4) S=1/50

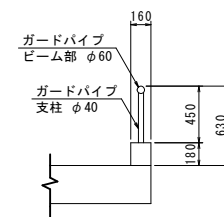
ガードパイプ詳細図 S=1/100



A-A断面図



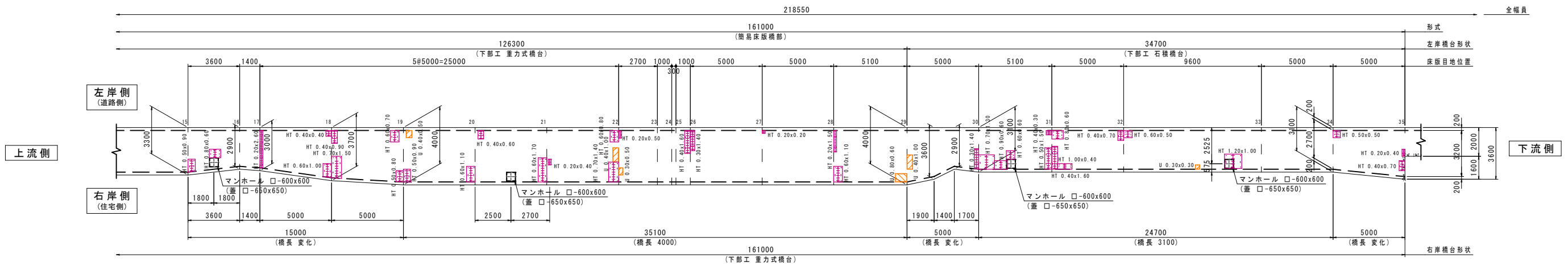
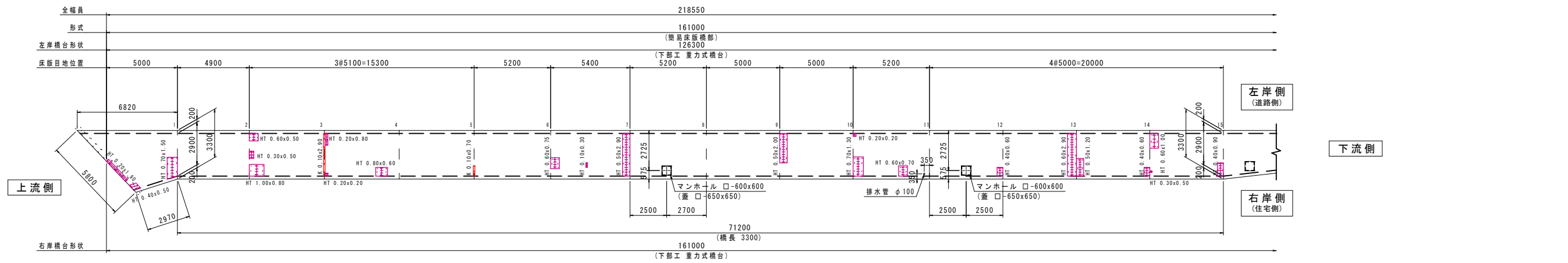
B-B断面



図面番号	4 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	4/4	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

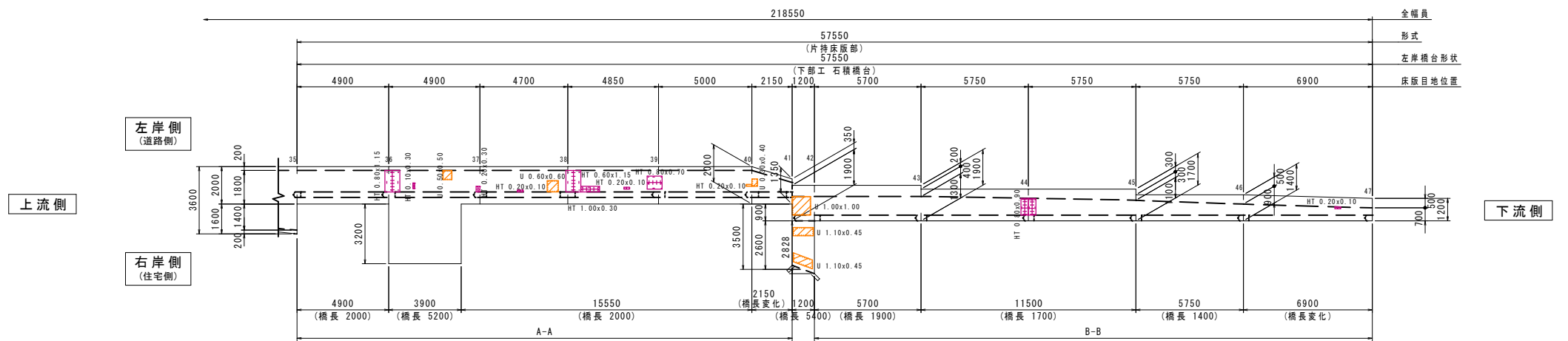
(市道本町1号線) 損傷図 (その1) S=1/150

平面図



凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
S	錆汁跡
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
M	ジャンカ
HA	被覆剥がれ



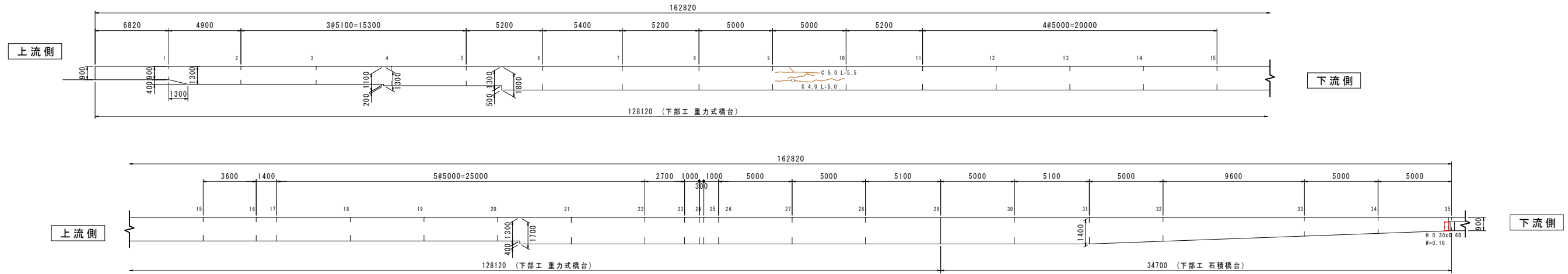
断面図 S=1/30



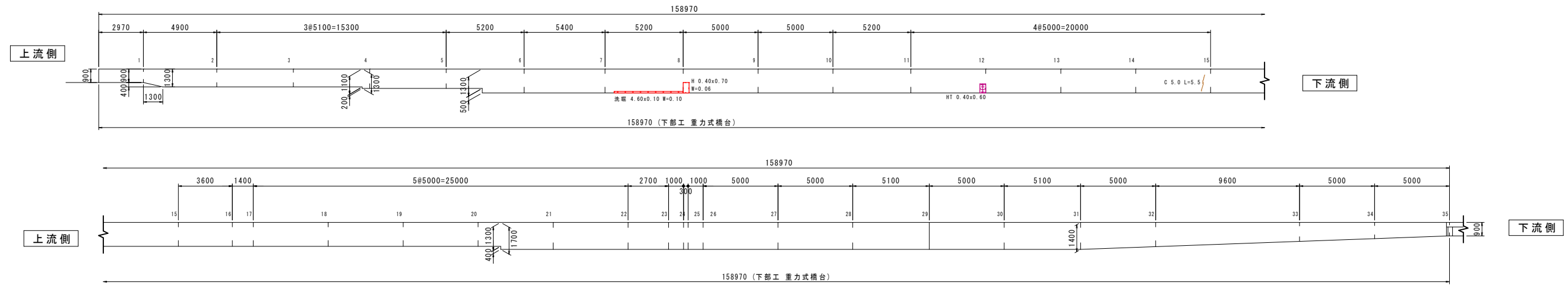
図面番号	5 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	1/3	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

(市道本町1号線) 損傷図 (その2) S=1/150

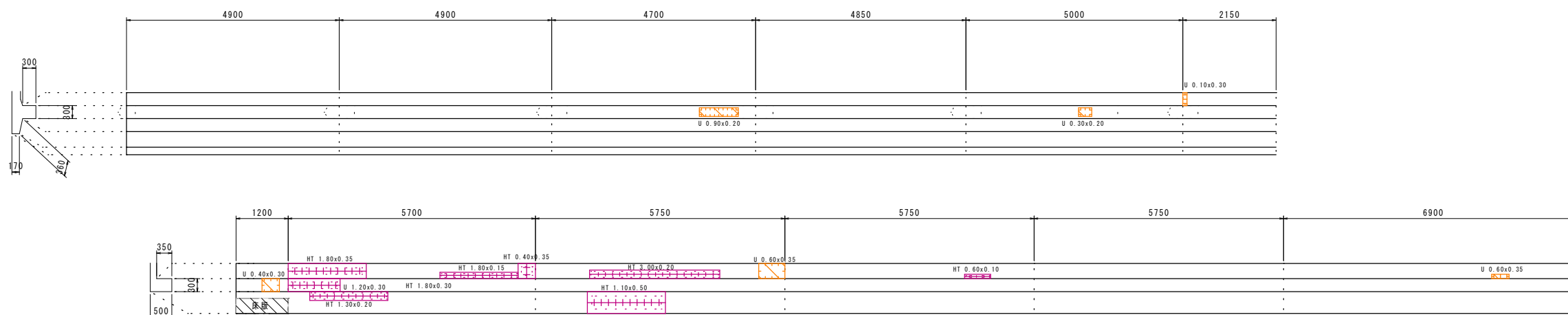
左岸側橋台正面図



右岸側橋台正面図



下流側片持床版部(主桁) S=1/60  
(平断面)



凡例

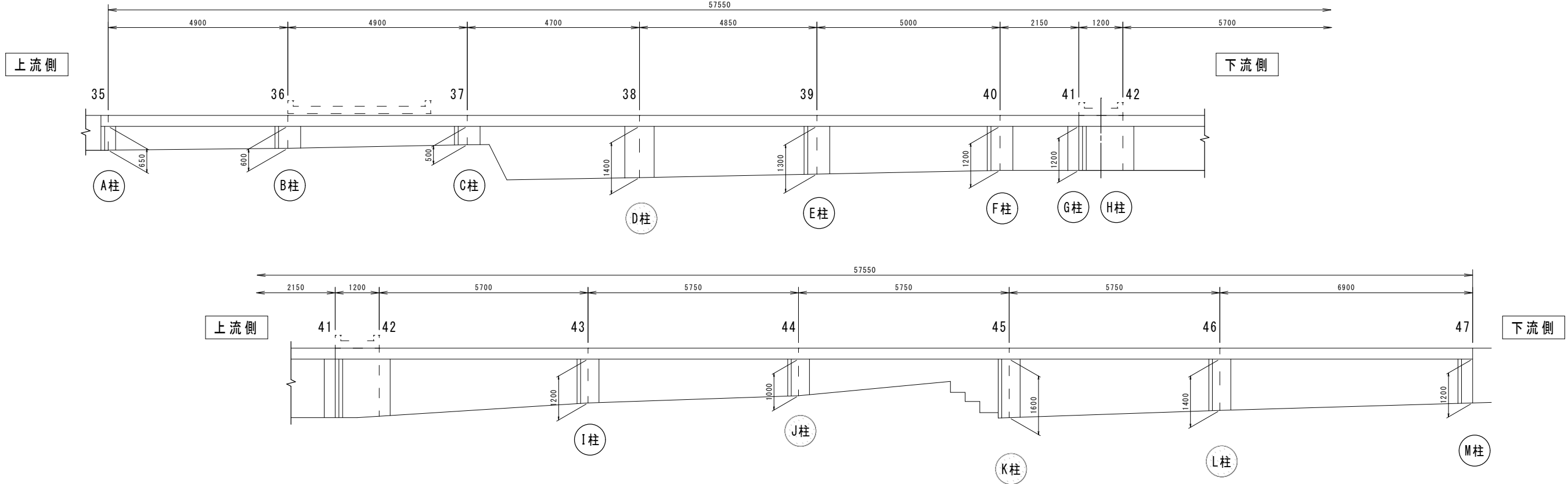
	C ひび割れ(0.2~1.0mm未満)		HT コンクリートの剥離・鉄筋露出
	CY 遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)		S 錆汁跡
	C ひび割れ(1.0mm以上)		Y 遊離石灰又はエフロレッセンス
	CY 遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)		R 漏水
	U コンクリートの浮き		M ジャンカ
	H コンクリートの剥離		HA 被覆剥がれ

図面番号	6 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	2/3	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

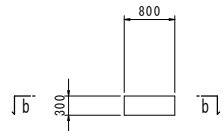
(市道本町1号線) 損傷図 (その3) S=1/60

下流側片持床版部(橋脚) S=1/60

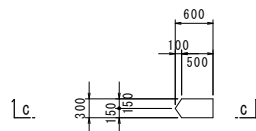
側面図



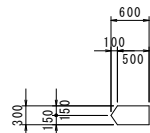
D柱平面



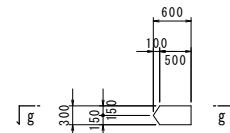
J柱平面



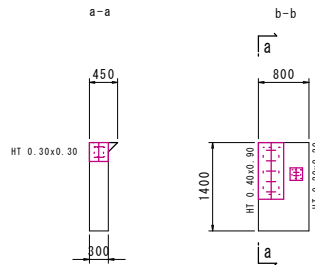
K柱平面



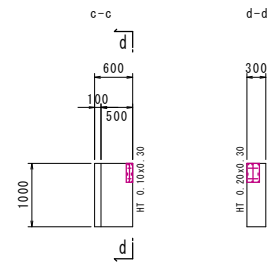
L柱平面



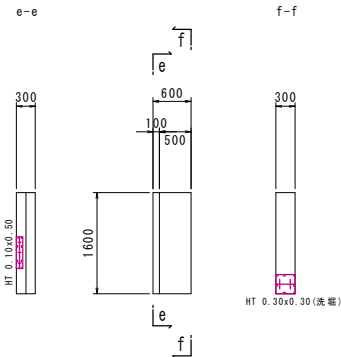
D柱側面



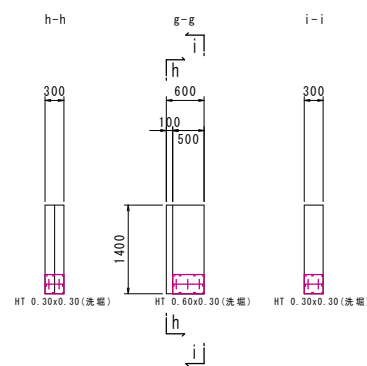
J柱側面



K柱側面



L柱側面



左岸側  
(道路側)

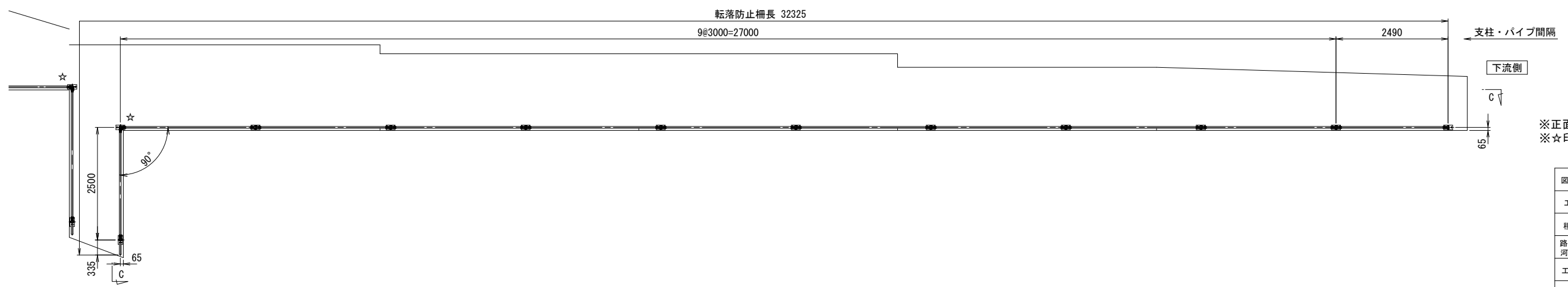
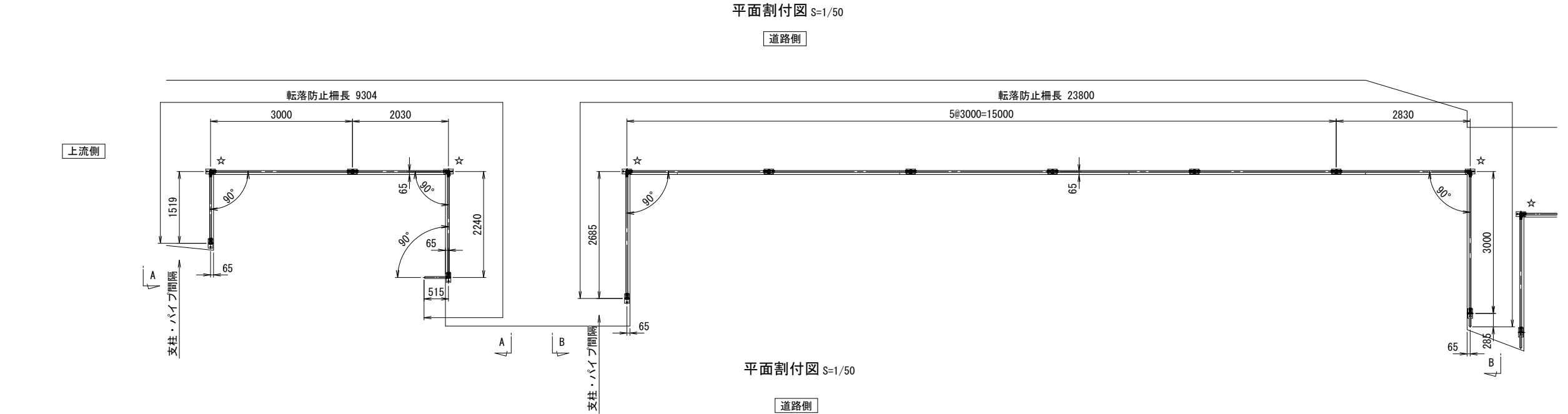
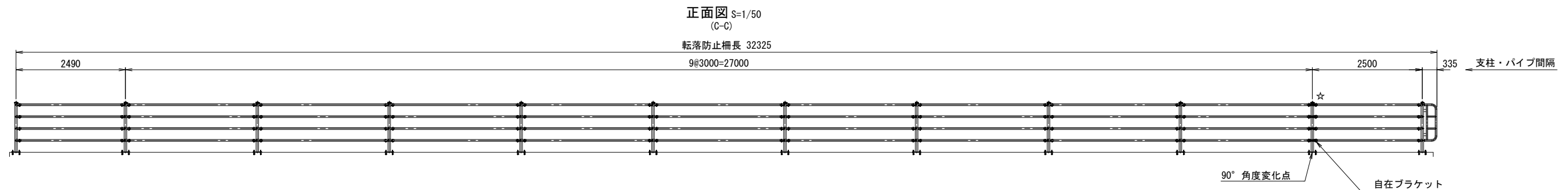
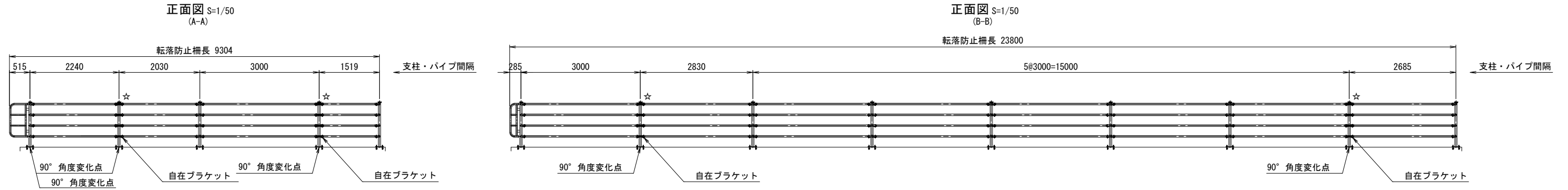
右岸側  
(住宅側)

凡例

	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	ひび割れ (1.0mm以上)
	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	コンクリートの浮き
	コンクリートの剥離
	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	錆跡
	遊離石灰又はエフロレッセンス
	漏水
	ジャンカ
	被覆剥がれ

図面番号	7 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	3/3	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
三原市			

(市道本町1号線) 転落防止柵詳細図(参考図)(その1)

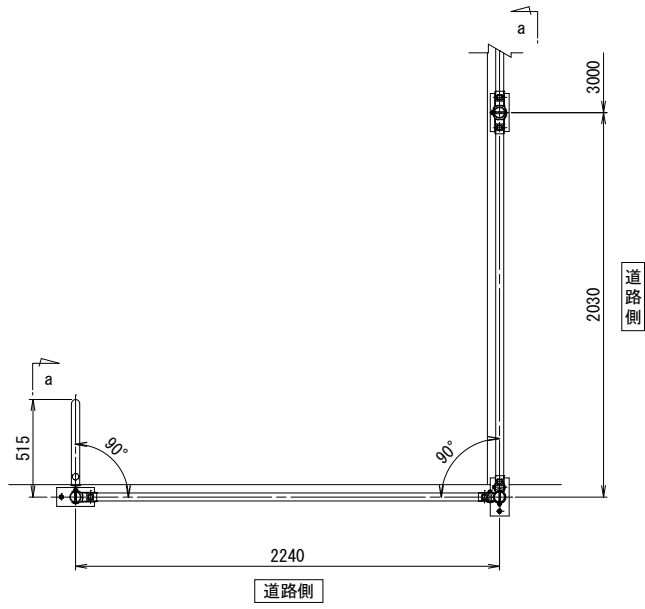


※正面図は道路側から見た図面である。  
 ※☆印部は、自在ブラケット位置を示す。

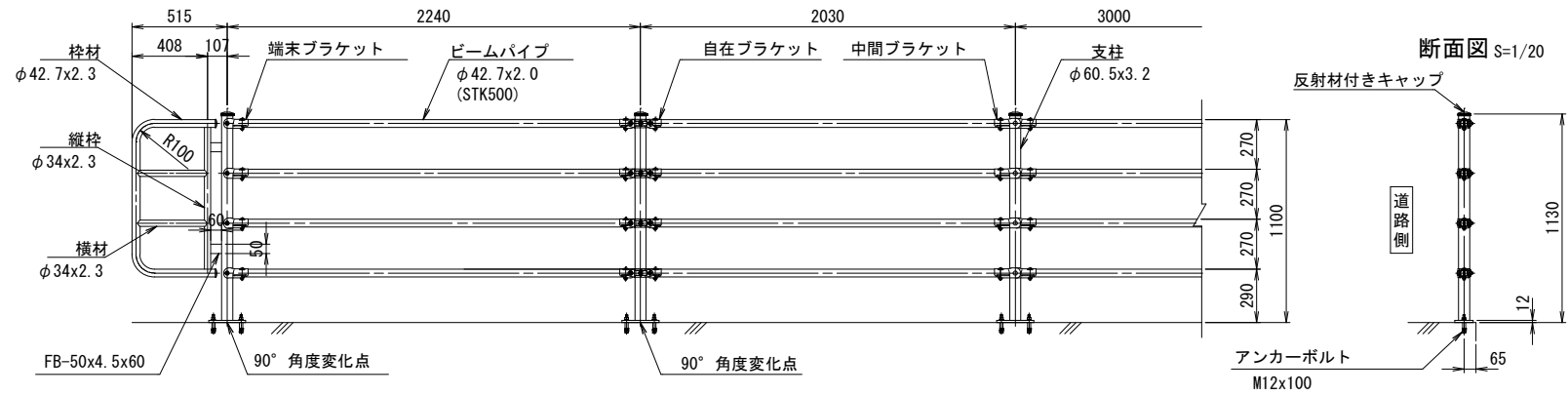
図面番号	8 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	1/2	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
	三原市		

(市道本町1号線) 転落防止柵詳細図(参考図)(その2)

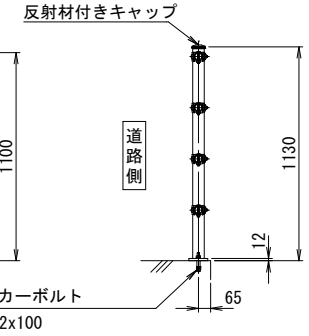
平面図 S=1/20



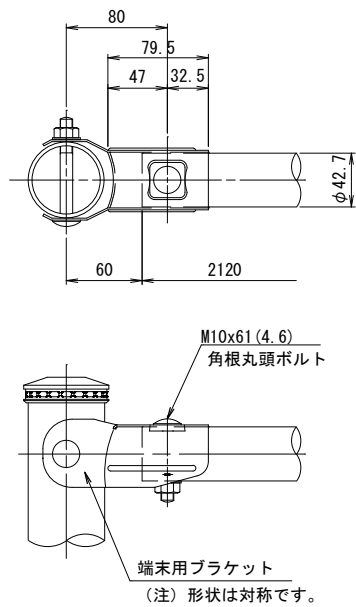
a-a矢視 S=1/20



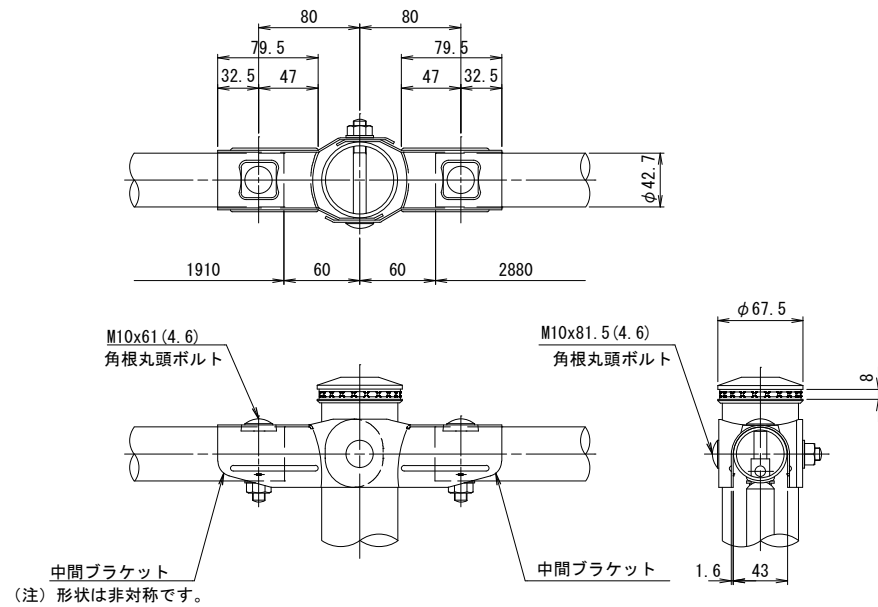
断面図 S=1/20



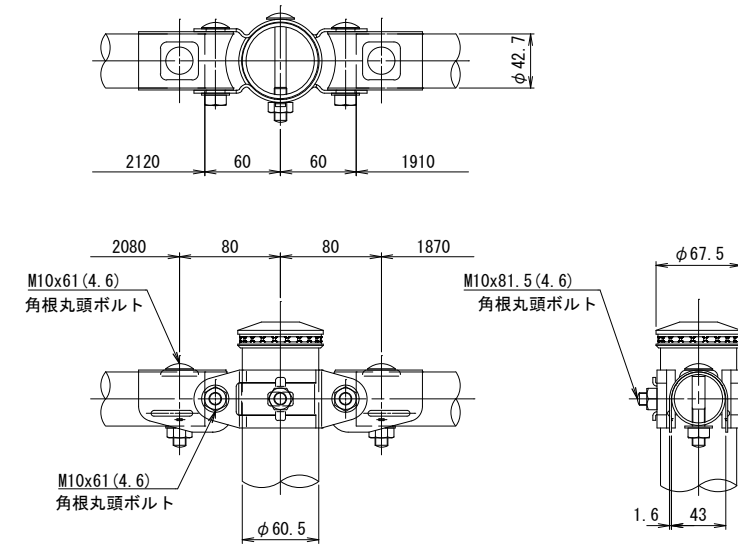
端末部取付詳細 S=1/3



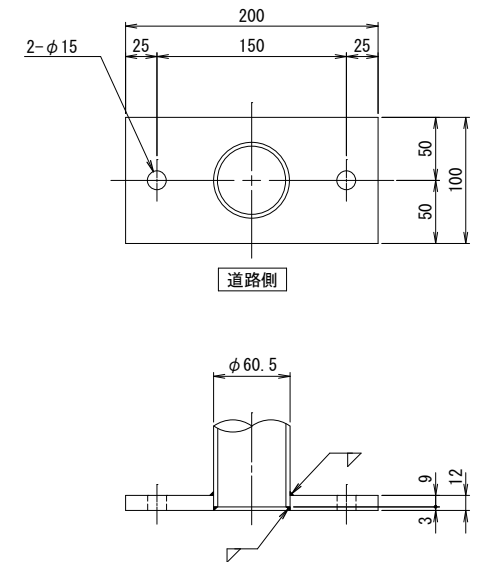
中間部取付詳細 S=1/3



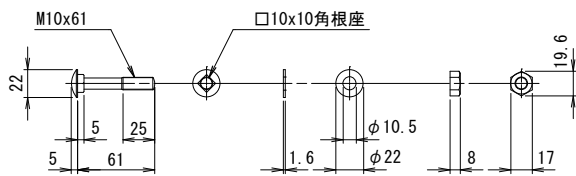
自在ブラケット取付詳細 S=1/3



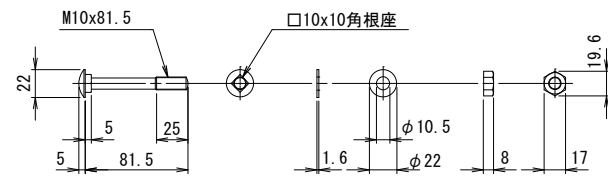
ベースプレート部詳細 S=1/3



角根丸頭ボルト S=1/3



角根丸頭ボルト S=1/3



※本図は道路側から見た図面である。  
 ※90° 角度変化点の中間支柱には自在ブラケットを使用のこと。

図面番号	9 / 9	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号	2/2	
路線名 河川	市道本町1号線		
工事場所	三原市本町二丁目		
	三原市		

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-05.10.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁床版工	1	式			Y1G0318 レベル2
旧橋撤去工	1	式			Y1G031806 レベル3
鋼製高欄撤去	1	式			Y1G03180601 レベル4
高欄撤去	66	m			SPK23040126 00
橋梁付属物工	66	m			単第0 -0001 表 Y1G0321 レベル2
橋梁用防護柵工	1	式			Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵	1	式			Y1G03210501 レベル4
	65	m			



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
転落防止柵設置工					V4001 00
	65	m			単第0 -0002 表
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
充てん工法 【ポリマーセメントモルタル】					Y1G03240401 レベル4
	1	構造物			
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合					S1020031 00
	1	構造物			単第0 -0006 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 【ポリマーセメントモルタル】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積2.7m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0007 表
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【コンクリート殻（無筋）】	3	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	3	m3			SPK23040152 00 単第0 -0008 表
殻処分 【コンクリート殻（無筋）】	3	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 無筋	6	t			F9002 00
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3
表面含浸工 【シラン系表面含浸材】	647	m2			Y1G03240502 レベル4
表面含浸工 シラン系表面含浸材	647	m2			V1001 00 単第0 -0009 表
水切り対策工	1	式			Y1G032406 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切り対策工					Y1G03240502レベル4
	58	m			
水切り対策工					V2001 00
	58	m			単第0 -0010 表
伸縮目地対策工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
伸縮目地対策工					Y1G03240502レベル4
	136	m			
伸縮目地対策工 シーリング止水処理					V3001 00
	136	m			単第0 -0011 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【鉄筋構造物】					Y1G03270601レベル4
	0.8	m3			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	0.8	m3			単第0 -0012 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【コンクリート殻（有筋）】					Y1G03271601 レベル4
	0.8	m3			
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)					SPK23040152 00
	0.8	m3			単第0 -0013 表
殻処分 【コンクリート殻（有筋）】					Y1G03271602 レベル4
	0.8	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 有筋					F9001 00
	2	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	24	人			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	24	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

# 施工単価表

高欄撤去

SPK23040126

単第0 -0001 表

1 m 当り

機械構成比: 5.57% 労務構成比: 92.71% 材料構成比: 1.72% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,400.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t級吊能力2.9t	5.57%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t級吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
溶接工	34.18%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
特殊作業員	28.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	14.44%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	13.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001















# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0008 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,194.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		







# 施工単価表

伸縮目地対策工  
シーリング止水処理

V3001

単第0 -0011 表

頁0 -0019

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
<賃>ハンドカッタ モータ式, ブレード別	1	日			
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1	日			
<賃>コンクリートブレーカ 質量20kg級	1	日			
雑材料	15	%			#01
シーリング材 ポリブタジエン系	13.4	kg			
雑材料	15	%			#02
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			



# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0013 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,493.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

## 数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	合計	備考
断面修復工	断面修復工	左官工法	コンクリートはつり	m <sup>2</sup>	40.0	
			運搬・処分	m <sup>3</sup>	2.6	
			処分費	t	5.9	
			断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)	m <sup>3</sup>	2.70	
ひびわれ充填工	ひびわれ充填	延べ施工量		m	16.0	
		Vカット	15mm × 15mm	m	16.0	
		ひびわれ充填材	ポリマーセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.001	
表面保護工	表面含浸工		シラン系表面含浸材	m <sup>2</sup>	647.1	
水切り対策工	水切り対策工	水切設置工	後付け水切材	m	57.9	下地処理(サンダーケレン) 1㎡
伸縮目地対策工	伸縮目地対策工	バックアップ材	t=15mm用	m	135.7	止水目地材
		高弾性シール材	ポリブタジエン系シール材	m	135.7	
高欄工	転落防止柵設置工	地覆とりこわし工		m <sup>3</sup>	0.8	2t
		既設高欄撤去工		m	65.8	
		転落防止柵設置工		m	65.4	
安全管理費	交通誘導員	交通誘導員B		人	24	2人/日

## 断面修復工

(1) コンクリートはつり

$$A = 39.9700 = 39.970 \text{ m}^2$$

(2) 運搬・処分

$$V = 2.56350 = 2.564 \text{ m}^3$$

(3) 処分費

$$W = 2.564 \times 2.3 = 5.897 \text{ t}$$

(4) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = 2.69980 \times \underset{\text{ロス率}}{1.00000} = 2.700 \text{ m}^3$$

(6) 断面修復集計表

位置	損傷番号	幅 (mm)	長さ (mm)	はつり数量集計			断面修復数量集計			備考
				はつり厚 (mm)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	補修厚 (mm)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	
簡床	(1)	200	1900	60	0.3800	0.02280	60	0.3800	0.02280	はくり・鉄筋露出
簡床	(2)	400	500	60	0.2000	0.01200	60	0.2000	0.01200	はくり・鉄筋露出
簡床	(3)	700	1500	60	1.0500	0.06300	60	1.0500	0.06300	はくり・鉄筋露出
簡床	(4)	1000	800	60	0.8000	0.04800	60	0.8000	0.04800	はくり・鉄筋露出
簡床	(5)	300	500	60	0.1500	0.00900	60	0.1500	0.00900	はくり・鉄筋露出
簡床	(6)	600	500	60	0.3000	0.01800	60	0.3000	0.01800	はくり・鉄筋露出
簡床	(7)	100	2900	60	0.2900	0.01740	60	0.2900	0.01740	はくり・鉄筋露出
簡床	(8)	200	800	60	0.1600	0.00960	60	0.1600	0.00960	はくり・鉄筋露出
簡床	(9)	800	600	60	0.4800	0.02880	60	0.4800	0.02880	はくり・鉄筋露出
簡床	(10)	200	200	60	0.0400	0.00240	60	0.0400	0.00240	はくり・鉄筋露出
簡床	(11)	100	700	60	0.0700	0.00420	60	0.0700	0.00420	はくり・鉄筋露出
簡床	(12)	600	750	60	0.4500	0.02700	60	0.4500	0.02700	はくり・鉄筋露出
簡床	(13)	100	300	60	0.0300	0.00180	60	0.0300	0.00180	はくり・鉄筋露出
簡床	(14)	500	2900	60	1.4500	0.08700	60	1.4500	0.08700	はくり・鉄筋露出
簡床	(15)	500	2000	60	1.0000	0.06000	60	1.0000	0.06000	はくり・鉄筋露出
簡床	(16)	700	1300	60	0.9100	0.05460	60	0.9100	0.05460	はくり・鉄筋露出
簡床	(17)	200	200	60	0.0400	0.00240	60	0.0400	0.00240	はくり・鉄筋露出
簡床	(18)	600	700	60	0.4200	0.02520	60	0.4200	0.02520	はくり・鉄筋露出
簡床	(19)	400	600	60	0.2400	0.01440	60	0.2400	0.01440	はくり・鉄筋露出
簡床	(20)	600	2900	60	1.7400	0.10440	60	1.7400	0.10440	はくり・鉄筋露出
簡床	(21)	500	1200	60	0.6000	0.03600	60	0.6000	0.03600	はくり・鉄筋露出
簡床	(22)	400	600	60	0.2400	0.01440	60	0.2400	0.01440	はくり・鉄筋露出
簡床	(23)	300	500	60	0.1500	0.00900	60	0.1500	0.00900	はくり・鉄筋露出
簡床	(24)	600	1000	60	0.6000	0.03600	60	0.6000	0.03600	はくり・鉄筋露出
簡床	(25)	400	900	60	0.3600	0.02160	60	0.3600	0.02160	はくり・鉄筋露出
簡床	(26)	500	900	60	0.4500	0.02700	60	0.4500	0.02700	はくり・鉄筋露出
簡床	(27)	800	600	60	0.4800	0.02880	60	0.4800	0.02880	はくり・鉄筋露出
簡床	(28)	200	2600	60	0.5200	0.03120	60	0.5200	0.03120	はくり・鉄筋露出
簡床	(29)	400	400	60	0.1600	0.00960	60	0.1600	0.00960	はくり・鉄筋露出
簡床	(30)	400	900	60	0.3600	0.02160	60	0.3600	0.02160	はくり・鉄筋露出
簡床	(31)	700	1500	60	1.0500	0.06300	60	1.0500	0.06300	はくり・鉄筋露出
簡床	(32)	600	1000	60	0.6000	0.03600	60	0.6000	0.03600	はくり・鉄筋露出
簡床	(33)	600	700	60	0.4200	0.02520	60	0.4200	0.02520	はくり・鉄筋露出
簡床	(34)	500	800	60	0.4000	0.02400	60	0.4000	0.02400	はくり・鉄筋露出
簡床	(35)	500	900	60	0.4500	0.02700	60	0.4500	0.02700	はくり・鉄筋露出
簡床	(36)	400	500	60	0.2000	0.01200	60	0.2000	0.01200	うき
簡床	(37)	600	1100	60	0.6600	0.03960	60	0.6600	0.03960	はくり・鉄筋露出
簡床	(38)	400	600	60	0.2400	0.01440	60	0.2400	0.01440	はくり・鉄筋露出
簡床	(39)	600	1700	60	1.0200	0.06120	60	1.0200	0.06120	はくり・鉄筋露出
簡床	(40)	200	400	60	0.0800	0.00480	60	0.0800	0.00480	はくり・鉄筋露出

位置	損傷 番号	幅 (mm)	長さ (mm)	はつり数量集計			断面修復数量集計			備考
				はつり厚 (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	補修厚 (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	
簡床	(41)	700	1400	60	0.9800	0.05880	60	0.9800	0.05880	はくり・鉄筋露出
簡床	(42)	600	800	60	0.4800	0.02880	60	0.4800	0.02880	はくり・鉄筋露出
簡床	(43)	400	1000	60	0.4000	0.02400	60	0.4000	0.02400	うき
簡床	(44)	300	500	60	0.1500	0.00900	60	0.1500	0.00900	うき
簡床	(45)	200	500	60	0.1000	0.00600	60	0.1000	0.00600	はくり・鉄筋露出
簡床	(46)	400	1600	60	0.6400	0.03840	60	0.6400	0.03840	はくり・鉄筋露出
簡床	(47)	300	1400	60	0.4200	0.02520	60	0.4200	0.02520	はくり・鉄筋露出
簡床	(48)	200	200	60	0.0400	0.00240	60	0.0400	0.00240	はくり・鉄筋露出
簡床	(49)	200	1500	60	0.3000	0.01800	60	0.3000	0.01800	はくり・鉄筋露出
簡床	(50)	600	1100	60	0.6600	0.03960	60	0.6600	0.03960	はくり・鉄筋露出
簡床	(51)	800	600	60	0.4800	0.02880	60	0.4800	0.02880	うき
簡床	(52)	400	1000	60	0.4000	0.02400	60	0.4000	0.02400	うき
簡床	(53)	300	1400	60	0.4200	0.02520	60	0.4200	0.02520	はくり・鉄筋露出
簡床	(54)	700	1300	60	0.9100	0.05460	60	0.9100	0.05460	はくり・鉄筋露出
簡床	(55)	900	600	60	0.5400	0.03240	60	0.5400	0.03240	はくり・鉄筋露出
簡床	(56)	600	600	60	0.3600	0.02160	60	0.3600	0.02160	はくり・鉄筋露出
簡床	(57)	400	300	60	0.1200	0.00720	60	0.1200	0.00720	はくり・鉄筋露出
簡床	(58)	500	1500	60	0.7500	0.04500	60	0.7500	0.04500	はくり・鉄筋露出
簡床	(59)	400	1600	60	0.6400	0.03840	60	0.6400	0.03840	はくり・鉄筋露出
簡床	(60)	1000	400	60	0.4000	0.02400	60	0.4000	0.02400	はくり・鉄筋露出
簡床	(61)	800	600	60	0.4800	0.02880	60	0.4800	0.02880	はくり・鉄筋露出
簡床	(62)	400	700	60	0.2800	0.01680	60	0.2800	0.01680	はくり・鉄筋露出
簡床	(63)	600	500	60	0.3000	0.01800	60	0.3000	0.01800	はくり・鉄筋露出
簡床	(64)	300	300	60	0.0900	0.00540	60	0.0900	0.00540	うき
簡床	(65)	1200	1000	60	1.2000	0.07200	60	1.2000	0.07200	はくり・鉄筋露出
簡床	(66)	500	500	60	0.2500	0.01500	60	0.2500	0.01500	はくり・鉄筋露出
簡床	(67)	200	400	60	0.0800	0.00480	60	0.0800	0.00480	はくり・鉄筋露出
簡床	(68)	400	700	60	0.2800	0.01680	60	0.2800	0.01680	はくり・鉄筋露出
片床	(69)	800	1150	80	0.9200	0.07360	80	0.9200	0.07360	はくり・鉄筋露出
片床	(70)	100	300	80	0.0300	0.00240	80	0.0300	0.00240	はくり・鉄筋露出
片床	(71)	500	500	80	0.2500	0.02000	80	0.2500	0.02000	うき
片床	(72)	200	300	80	0.0600	0.00480	80	0.0600	0.00480	はくり・鉄筋露出
片床	(73)	200	100	80	0.0200	0.00160	80	0.0200	0.00160	はくり・鉄筋露出
片床	(74)	600	600	80	0.3600	0.02880	80	0.3600	0.02880	うき
片床	(75)	600	1150	80	0.6900	0.05520	80	0.6900	0.05520	はくり・鉄筋露出
片床	(76)	200	100	80	0.0200	0.00160	80	0.0200	0.00160	はくり・鉄筋露出
片床	(77)	1000	300	80	0.3000	0.02400	80	0.3000	0.02400	はくり・鉄筋露出
片床	(78)	800	700	80	0.5600	0.04480	80	0.5600	0.04480	はくり・鉄筋露出
片床	(79)	200	100	80	0.0200	0.00160	80	0.0200	0.00160	はくり・鉄筋露出
片床	(80)	300	400	80	0.1200	0.00960	80	0.1200	0.00960	はくり・鉄筋露出
片床	(81)	800	900	80	0.7200	0.05760	80	0.7200	0.05760	はくり・鉄筋露出





## ひびわれ注入工

(1) 延べ施工量

$$L = 16.000 = 16.000 \text{ m}$$

(2) Vカット (10mm × 10mm)

$$L = 16.000 = 16.000 \text{ m}$$

(3) ひびわれ充填材 (ポリマーセメントモルタル)

$$W = 0.010 \times 0.010 \times \frac{1}{2} \times 16 \times 1.00000 = 0.001 \text{ m}^3$$

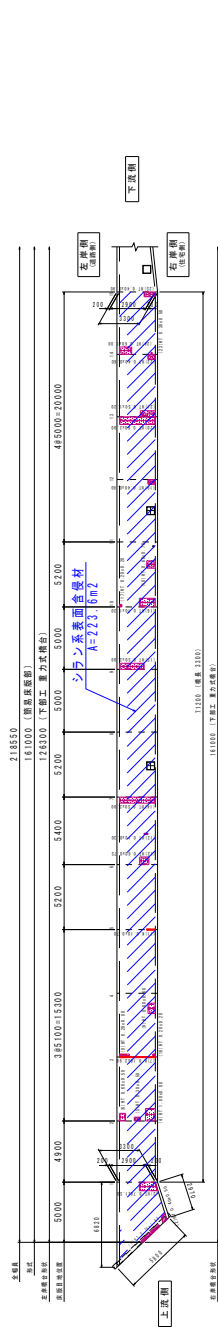
(6) ひびわれ充填集計表

位置	損傷 番号	幅 (mm)	長さ (mm)	ひびわれ数量集計				備考
				補修深さ (mm)	長さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)	
下部工	1>	5.00	5500	350	5.500	0.0275	0.009625	
	2>	4.00	5000	350	5.000	0.0200	0.007000	
	3>	5.00	5500	350	5.500	0.0275	0.009625	
集計		5.00	11000	700	11.000	0.0550	0.019250	
		4.00	5000	350	5.000	0.0200	0.007000	
			16000	1050	16.000	0.0750	0.026250	

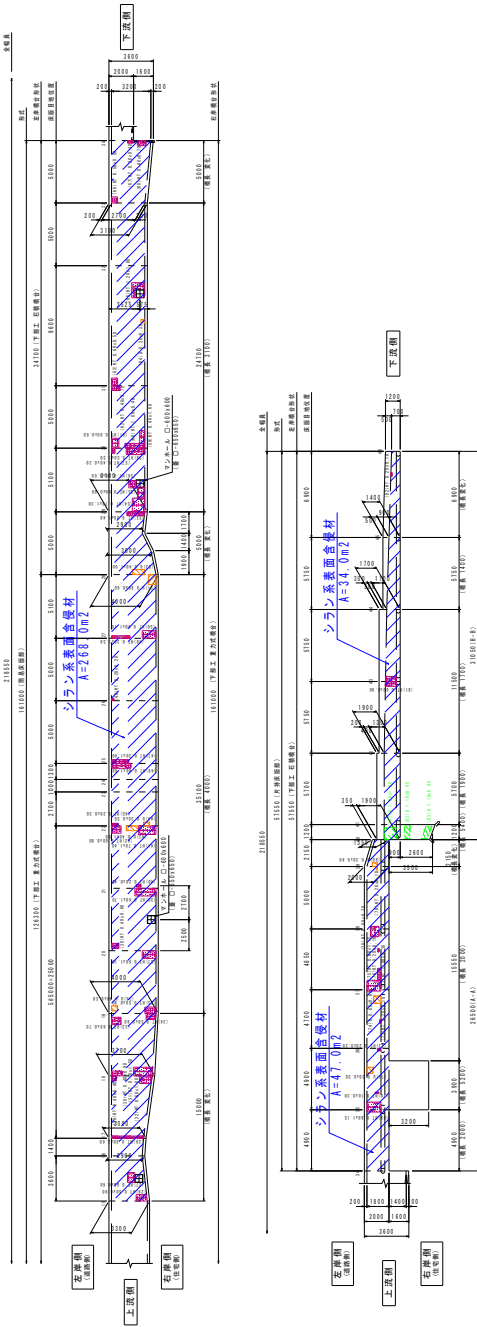
※深さはひびわれ幅の200倍根拠:(2002年)コンクリート標準示方書[性能照査編](深さの上限350mm)

# 表面含浸工 (シラン系表面含侵材)

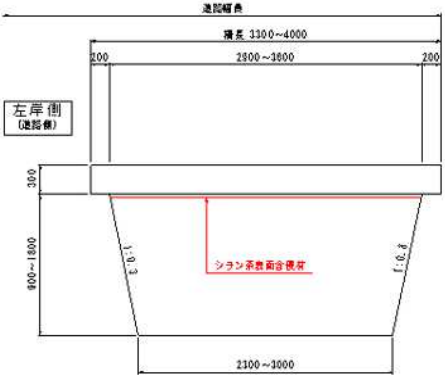
平面図



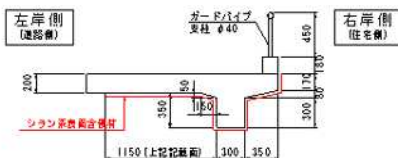
断面図



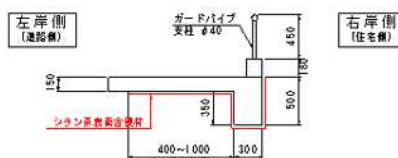
1-1



2-2



3-3



(1) 表面含浸工

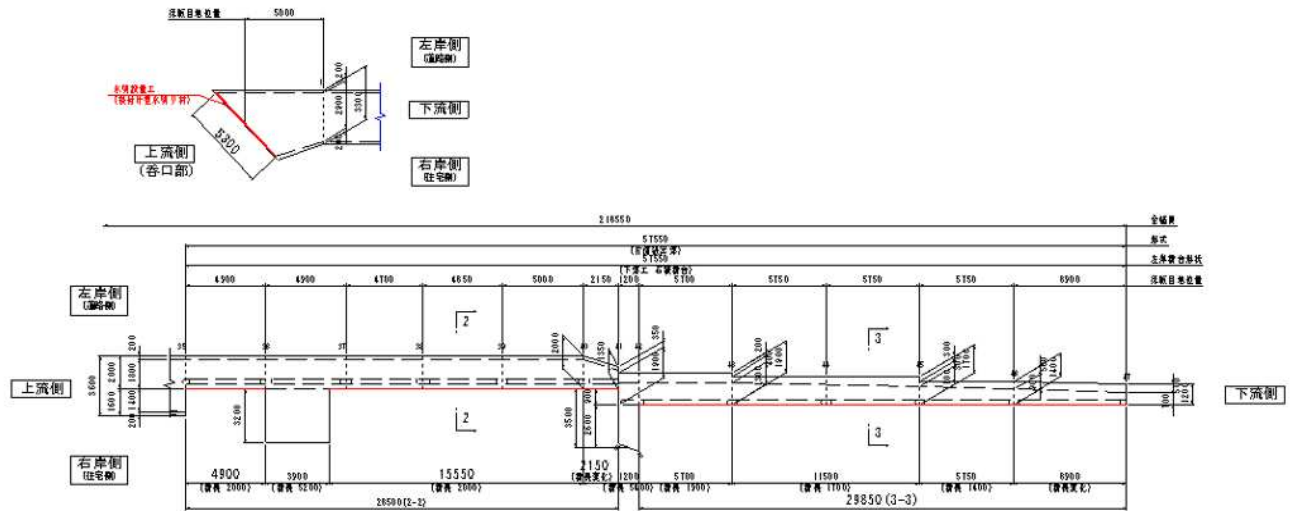
上部工

A1	=	図面計測 223.6	+	図面計測 268.000		=	491.600	m <sup>2</sup>		
A2	=	図面計測 47.0	+	( 0.350 + 0.300 + 0.170 )	x	26.500	=	68.730	m <sup>2</sup>	
A3	=	図面計測 34.000	+	( 0.350 + 0.500 )	x	31.050	=	60.393	m <sup>2</sup>	
							ΣA	=	620.7	m <sup>2</sup>

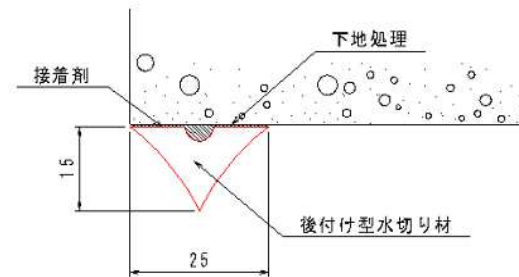
下部工(橋脚)

A4(A)	=	1.260	x	0.650		=	0.819	m <sup>2</sup>		
A5(B)	=	1.860	x	0.600		=	1.116	m <sup>2</sup>		
A6(C)	=	1.860	x	0.500		=	0.930	m <sup>2</sup>		
A7(D)	=	2.200	x	1.400		=	3.080	m <sup>2</sup>		
A8(E)	=	1.860	x	1.300		=	2.418	m <sup>2</sup>		
A9(F)	=	1.860	x	1.200		=	2.232	m <sup>2</sup>		
A10(G)	=	1.200	x	1.200		=	1.440	m <sup>2</sup>		
A11(H)	=	3.260	x	1.200		=	3.912	m <sup>2</sup>		
A12(I)	=	1.660	x	1.200		=	1.992	m <sup>2</sup>		
A13(J)	=	1.660	x	1.000		=	1.660	m <sup>2</sup>		
A14(K)	=	1.860	x	1.600		=	2.976	m <sup>2</sup>		
A15(L)	=	1.660	x	1.400		=	2.324	m <sup>2</sup>		
A16(M)	=	1.260	x	1.200		=	1.512	m <sup>2</sup>		
							ΣA	=	26.4	m <sup>2</sup>
							ΣΣA	=	647.1	m <sup>2</sup>

# 水切対策工(図面参照)



## 水切設置工



注) 側部端部床版下面および側面に設置する。

(1) 下地処理

$$A = ( 5.350 + 4.900 + 15.6 + 2.150 + 29.9 ) \times 0.025 = 1.4 \text{ m}^2$$

(2) 水切設置工

$$L = 5.350 + 4.900 + 15.6 + 2.150 + 29.85 = 57.9 \text{ m}$$

## 伸縮目地対策工

(m)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300	3.300
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
3.300	3.300	2.900	3.000	3.700	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
4.000	4.000	3.100	3.100	3.100	3.100	3.100	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000
40	41	42	43	44	45	合計						
1.000	1.900	1.700	1.700	1.400	1.400	135.700						

(1) バックアップ材 (止水目地材) t=15mm用

$$L = 135.700 = 135.700 \text{ m}$$

(2) 高弾性シール材 (ポリブタジエン系シール材) t=50mm, w=15mm

$$L = 135.700 = 135.700 \text{ m}$$

重量

$$W = 0.015 \times 0.050 \times 135.700 \times 1300 = 132.308 \text{ kg}$$

目地幅          厚さ          延長          (kg/m<sup>3</sup>)  
単位質量

## 5.7 高欄工(転落防止柵)

(1) 地覆とりこわし工

$$V1 = 0.300 \times 0.180 \times 0.160 \times 44 = 0.380 \text{ m}^3$$

$$V2 = (0.09 + 0.43 + 0.46 + 0.60 + 0.54) \times 0.180 = 0.382 \text{ m}^3$$


---


$$= 0.762 \text{ m}^3$$

(2) 既設高欄撤去工

$$L = 1.600 + 5.055 + 2.255 + 0.525 + 2.750 + 17.85$$

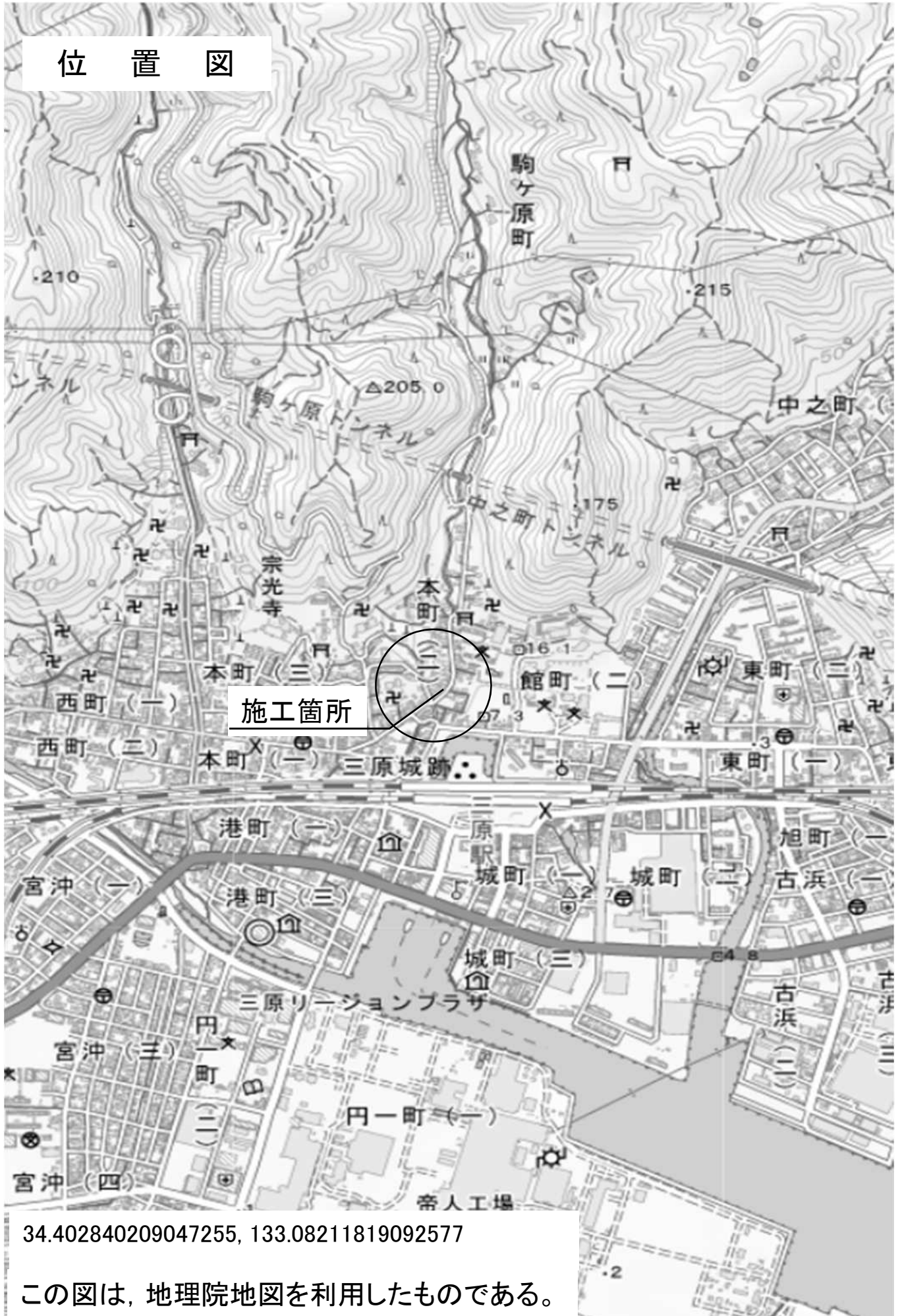
$$+ 3.350 + 2.900 + 29.5 = 65.785 \text{ m}$$

(3) 転落防止柵設置工

$$L = 1.519 + 5.030 + 2.24 + 0.515 + 2.685 + 17.83$$

$$+ 3.285 + 2.835 + 29.49 = 65.429 \text{ m}$$

# 位置図



34.402840209047255, 133.08211819092577

この図は、地理院地図を利用したものである。